

産業基盤部会（第3回）

平成20年5月8日（木）14時00分～
帯広市役所10階第3会議室

1 開会（全体司会：事務局）

2 部会長あいさつ

3 配布資料について

（1）事前配布資料について

（2）追加配布資料について

4 議事（議事進行：部会長）

（1）産業基盤部会の今後のスケジュールについて

（2）第2回部会の論議内容及び第3回部会の検討の視点（案）細項目について

（3）検討の視点（案）に基づく論議（「産業集積」「エネルギー」を予定）

（4）次回までに用意すべき資料の要望について

（5）第4回5/27（火）、第5回6/5（木）、以降の開催日程について

5 閉会

第3回 産業基盤部会用 事前配布資料 目次

※事前に資料に目を通してから、部会に参加いただくようお願いいたします。なお、部会当日は資料を会場に用意しますので、持参の必要はありません。

1 産業集積に関する資料

(1) 2006年10月26日帝国データバンク「特別企画：企業立地に関する動向アンケート調査」・・・・・・・・・・・・・・・・・・資料10

2 チーズ・菓子に関する資料

- (1) 十勝のチーズ工房一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・資料11
- (2) 北海道菓子工業組合十勝支部・帯広洋菓子協会 会員名簿・・・・・・・・・・資料12
- (3) 菓子王国十勝スタンプラリー2008・・・・・・・・・・・・・・・・・・資料13
- (4) 道内事業者ごとのナチュラルチーズ生産量（平成11年調査）・・・・・・資料14
- (5) 北海道のナチュラルチーズに関するマップ、工場リスト、生産量、需給推移、輸入量、世界のナチュラルチーズ生産量（独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構北海道農業研究センターのホームページから）・・・・・・・・・・資料15

3 工業統計

(1) 平成18年工業統計調査十勝支庁管内市町村別・産業細分類別データ・・・・資料16

4 エネルギー

- (1) 帯広市新エネルギービジョン平成14年2月公表・・・・・・・・・・・・・・・・・・資料17
- (2) 十勝バイオインダストリアルパーク（構想）帯広商工会議所・・・・・・・・・・資料18

4 高速道路、十勝港

- (1) 北海道高規格幹線道路網図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・資料19
- (2) 北海道各港の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・資料20
- (3) 十勝港の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・資料21

特別企画: 「企業立地に関する動向アンケート」調査

最も重視した自治体の誘致施策は
「交通インフラの整備」

～7割の企業が検討開始から2年のうちに立地先を決定～

はじめに>>

経済産業省の「平成17年工場立地動向調査結果(速報)」によると、工場立地件数、立地面積はともに3年連続の2桁増加であり、立地の国内回帰が鮮明となった。だが、その内容を詳しくみると、立地は地方圏から都市圏へと移行しつつあるとともに、立地件数の増加する県と減少する県の格差が拡大傾向にある実態もうかがえる。企業は、重視するポイントをもって自治体の取り組みを精査し、依然より厳しく立地戦略を進めていることは明らかである。

そこで帝国データバンク(TDB)は2006年8月、企業の立地先検討のプロセスや決定に関し重視するポイントなどを探ることを目的に、新規立地を行った企業を対象にアンケート調査を実施した。調査対象は1998年以降に国内で工場や物流センターなどを立地した1,192社で、うち324社から回答を得た(調査概要については下欄参照)。

◇ 調査対象	1,192社 ・財団法人日本立地センター公表資料および新聞・雑誌の報道をもとに、 1998年以降に本社所在地と異なる都道府県への進出を確認した企業																																							
◇ 調査期間	2006年8月9日～24日																																							
◇ 調査項目	①検討開始から立地先決定までの期間 ②立地先選定にあたっての情報収集の方法 ③立地都道府県以外に候補とした都道府県の数 ④立地先決定の重要要因 ⑤立地先決定にあたり最も重視した自治体の誘致施策 ⑥立地に関する不満、自治体への要望																																							
◇ 調査方式	調査票郵送による回答選択・記入式																																							
◇ 調査票回収数	324社(回収率27.2%)																																							
◇ 分析対象企業の属性	①業種	②本社所在地																																						
	<table border="1"> <tr><td>金融</td><td>4</td></tr> <tr><td>建設</td><td>8</td></tr> <tr><td>製造</td><td>240</td></tr> <tr><td>卸売</td><td>17</td></tr> <tr><td>小売</td><td>7</td></tr> <tr><td>運輸・倉庫</td><td>25</td></tr> <tr><td>サービス</td><td>21</td></tr> <tr><td>その他</td><td>2</td></tr> <tr><td>合計</td><td>324</td></tr> </table>	金融	4	建設	8	製造	240	卸売	17	小売	7	運輸・倉庫	25	サービス	21	その他	2	合計	324	<table border="1"> <tr><td>北海道</td><td>5</td></tr> <tr><td>東北(青森、岩手、宮城、山形、福島)</td><td>16</td></tr> <tr><td>関東(茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川)</td><td>162</td></tr> <tr><td>甲信越・北陸(新潟、富山、石川、福井、山梨、長野)</td><td>20</td></tr> <tr><td>東海(岐阜、静岡、愛知)</td><td>22</td></tr> <tr><td>近畿(滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山)</td><td>66</td></tr> <tr><td>中国(岡山、広島)</td><td>16</td></tr> <tr><td>四国(香川、愛媛、高知)</td><td>6</td></tr> <tr><td>九州(福岡、佐賀、長崎、熊本、大分)</td><td>11</td></tr> <tr><td>合計</td><td>324</td></tr> </table>	北海道	5	東北(青森、岩手、宮城、山形、福島)	16	関東(茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川)	162	甲信越・北陸(新潟、富山、石川、福井、山梨、長野)	20	東海(岐阜、静岡、愛知)	22	近畿(滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山)	66	中国(岡山、広島)	16	四国(香川、愛媛、高知)	6	九州(福岡、佐賀、長崎、熊本、大分)	11	合計	324
金融	4																																							
建設	8																																							
製造	240																																							
卸売	17																																							
小売	7																																							
運輸・倉庫	25																																							
サービス	21																																							
その他	2																																							
合計	324																																							
北海道	5																																							
東北(青森、岩手、宮城、山形、福島)	16																																							
関東(茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川)	162																																							
甲信越・北陸(新潟、富山、石川、福井、山梨、長野)	20																																							
東海(岐阜、静岡、愛知)	22																																							
近畿(滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山)	66																																							
中国(岡山、広島)	16																																							
四国(香川、愛媛、高知)	6																																							
九州(福岡、佐賀、長崎、熊本、大分)	11																																							
合計	324																																							

注:業種分類は帝国データバンクの業種動向調査用分類(10業界51業種)に基づく

調査結果>>

1. 検討開始から立地先決定までの期間

～ 7割の企業が検討開始から2年のうちに立地先を決定

立地先について検討開始から決定までにかかった期間は、「半年以上、1年未満」が99社（構成比30.5%）で最も多かった。以下、「1年以上、2年未満」が83社（同25.6%）、「半年未満」が48社（同14.8%）であり、2年未満の企業が7割を占めた。

2. 立地先選定にあたっての情報収集の方法 ～ 約3分の2の企業が現地見学で情報収集

立地先選定にあたっての情報収集の方法については、複数回答の結果、「現地見学」が210社で最も多く、324社が選択した割合（選択率）は64.8%にのぼった。

3. 立地都道府県以外に候補とした都道府県の数 ～ 立地先検討は単独と比較で二分

立地先の検討に際し決定地以外に候補とした都道府県の数については、「ゼロ（他に候補なし）」が157社（構成比48.5%）で最も多かった。ただし、他の候補地を1カ所以上検討した企業も157社を数えた。

4. 立地先決定の重要要因

～ 3社に1社以上が「地価」を選択、重要度では「市場への近接性」がトップ

立地先（都道府県）の決定に際し重要となった要因については、複数回答の結果、「地価」が112社（選択率34.6%）で最も多かった。また、重要度順にポイント化すると、最高ポイントは「市場への近接性」だった。

5. 立地先決定にあたり最も重視した自治体の誘致施策 ～ 「交通インフラの整備」が最多

立地先の決定にあたり最も重視した自治体の誘致施策については、「交通インフラの整備」が90社（構成比27.8%）で最も多かった。「助成金の交付」は64社（同19.8%）だった。

一方、「アフターフォローの充実」が15社（同4.6%）、その他の意見として「自治体の熱意・協力」も複数を数えるなど、「ヒト・モノ・カネ」の「ヒト」に関する支援への期待の高さがうかがえた。

6. 立地に関する不満、自治体への要望 ～ 立地先の満足度は3社に2社が満足

324社のうち、調査時点で立地施設が稼働済みの268社について立地先の満足度を尋ねたところ、「満足」と「おおいに満足」をあわせた“満足企業”は177社であり、約3社に2社を数えた。

自治体への要望・改善点について自由回答で尋ねたところ、光ファイバーをはじめとする通信インフラの整備、立地後のアフターフォローを求める声が多かった。

結果考察>>

「カネ」から「モノ」および「ヒト」へ、自治体は立地施策の見直しが必要

調査結果を総合的にみると、企業の国内での立地活動は、

- ① 約2年の期間をかけ実地検分を中心に情報を収集
- ② 半数は数カ所の自治体（都府県）を比較
- ③ 「地価」をはじめとする計画の数値目標の達成はもとより、「市場への近接性」に代表される立地後の円滑な事業運営の可否を重視して立地先を決定

という姿が浮かび上がる。立地決定が相応の時間とコスト、先見の判断が求められるプロジェクトであることは疑うまでもない。

それだけの綿密な取り組みが実施される結果、立地後の状況について企業の満足度はおおむね高いといえる。ただ、経年とともに交通量や労働力人口など地域の状況は変化を避けられず、交通の利便性や労働力の確保が当初見込みと異なっていく可能性は少なくないことから、将来にわたって当初の満足度が維持されるという保証はない。

立地の満足度を維持する、言い換えれば立地による円滑な事業拡大を実現するため、企業は自治体の取り組みが頼りとなる交通インフラの整備について大きな期待を寄せている。また、継続的な協力対応にも強い要望を見せる。

現状、税優遇や補助金交付などの助成制度は、誘致競争の結果として各自治体とも高水準にある。だが、企業が立地決定に際し重視しているのは、交通や通信などの地域インフラ、立地後のアフターフォローである。「カネ」から「モノ」および「ヒト」へ、自治体は立地施策の見直しが必要である。

※ アンケート結果の詳細については、TDB ホームページ (<http://www.tdb.co.jp>) 内 “TDB Watching” をご覧いただくか、下記までお問い合わせください。

※ 上記回答のさらなる詳細分析は、TDB REPORT 82 号「地域経済動向 2007～企業立地／地域ブランド振興」（2006年10月26日発刊）にまとめております。

【内容に関する問い合わせ先】

(株) 帝国データバンク 産業調査部 情報企画課 担当：星野

TEL 03-5775-3163 FAX 03-5775-3169

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。

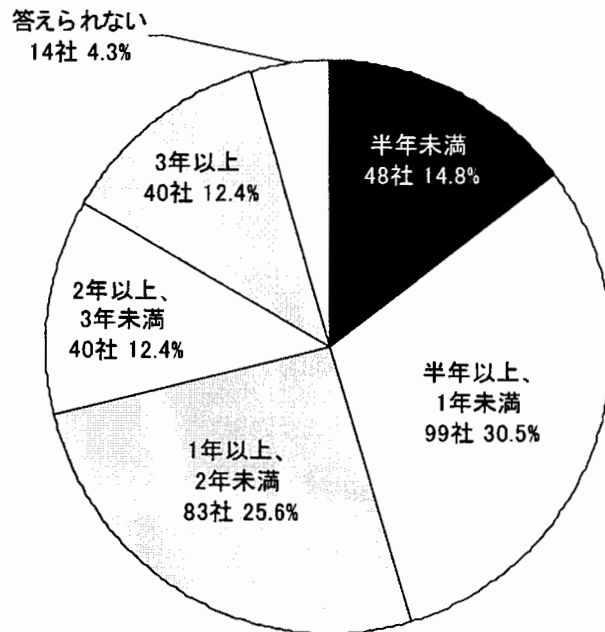
当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。報道目的以外の利用につきましては、著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および無断引用を固く禁じます。

1. 検討開始から立地先決定までの期間

～ 7割の企業が検討開始から2年のうちに立地先を決定

立地先について検討開始から決定までにかかった期間は、「半年以上、1年未満」が99社（構成比30.5%）で最も多かった。以下、「1年以上、2年未満」が83社（同25.6%）、「半年未満」が48社（同14.8%）であり、2年未満の企業が7割を占めた。立地先は、検討開始から遅くとも2年のうちに決定されるとみて良い。

立地先決定までの期間
(n=324社)

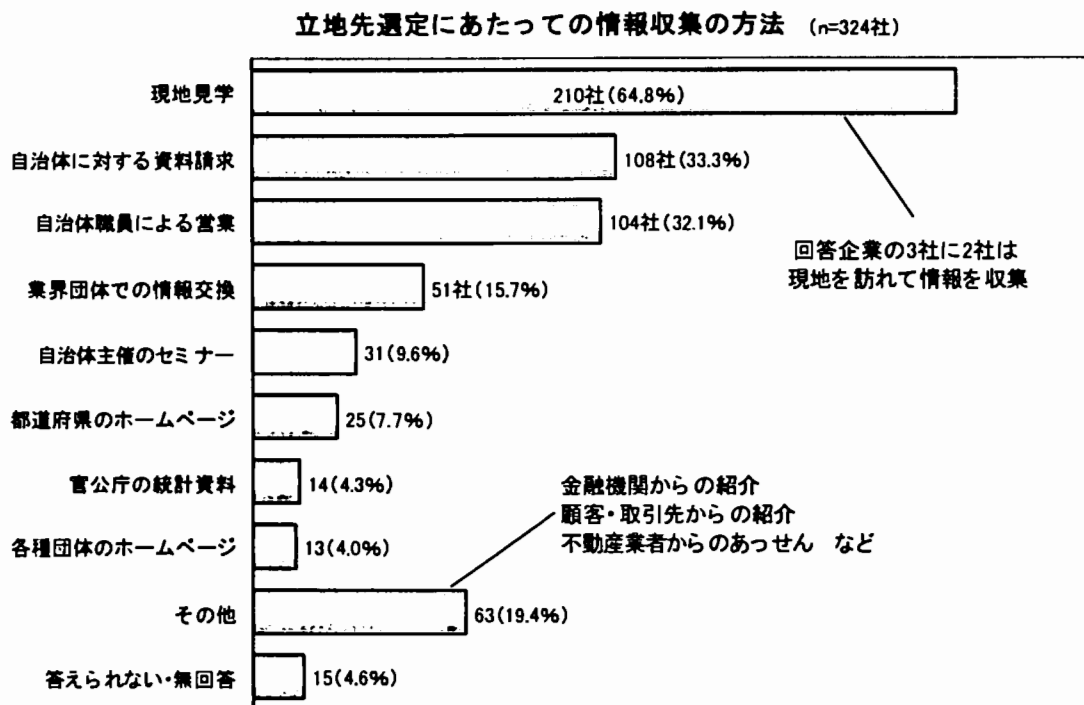


2. 立地先選定にあたっての情報収集の方法

～ 約3分の2の企業が現地見学で情報収集

立地先選定にあたっての情報収集の方法については、複数回答の結果、「現地見学」が210社で最も多く、324社が選択した割合（選択率）は64.8%にのぼった。以下、「自治体に対する資料請求」が108社（選択率33.3%）、「自治体職員による営業」が104社（同32.1%）と続いた。一方、手軽な情報収集方法といえる「ホームページの利用」については、都道府県（25社、同7.7%）、立地関連団体（13社、同4.0%）とも選択率は10%に届かなかった。

結果からは、自治体が発信する情報に依拠するのではなく、自らの視点で確認した情報に立脚して判断しようとする姿勢がうかがえる。自治体が発信する情報を活用する場合も、手間を惜しまず可能な限り詳細を入手、確認しようという考えが垣間見える。



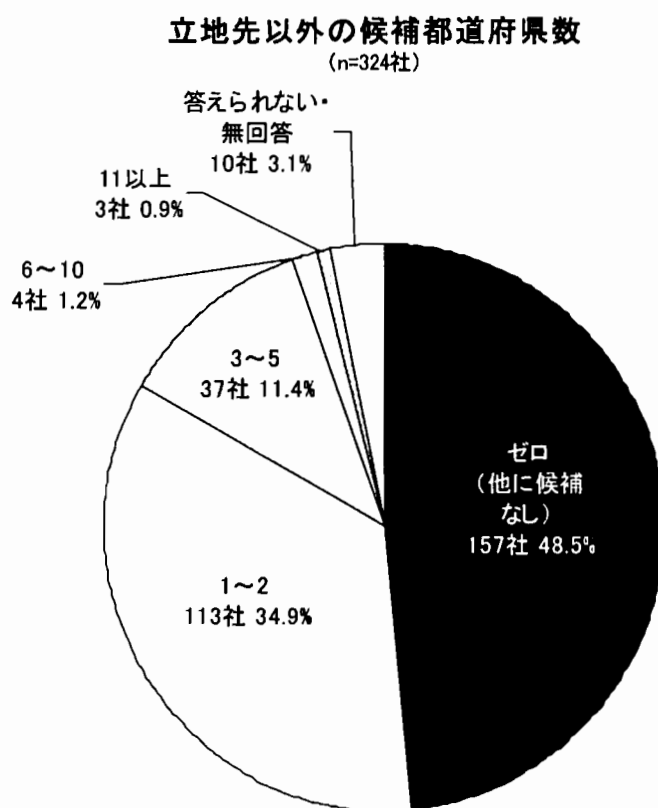
注：複数回答。カッコ内数値は324社が選択した割合（選択率）

3. 立地都道府県以外に候補とした都道府県の数

～ 立地先検討は単独と比較で二分

立地先の検討に際し決定地以外に候補とした都道府県の数については、「ゼロ（他に候補なし）」が157社（構成比48.5%）で最も多かった。ただし、他の候補地を1カ所以上検討した企業も157社を数えた。立地先の検討については、単独と比較のいずれかの傾向にあるとはいえない。

他の候補地と比較検討したケースについてみると、「1～2」が113社（同34.9%）で最も多く、4カ所以上で検討した企業は約1割にとどまった。



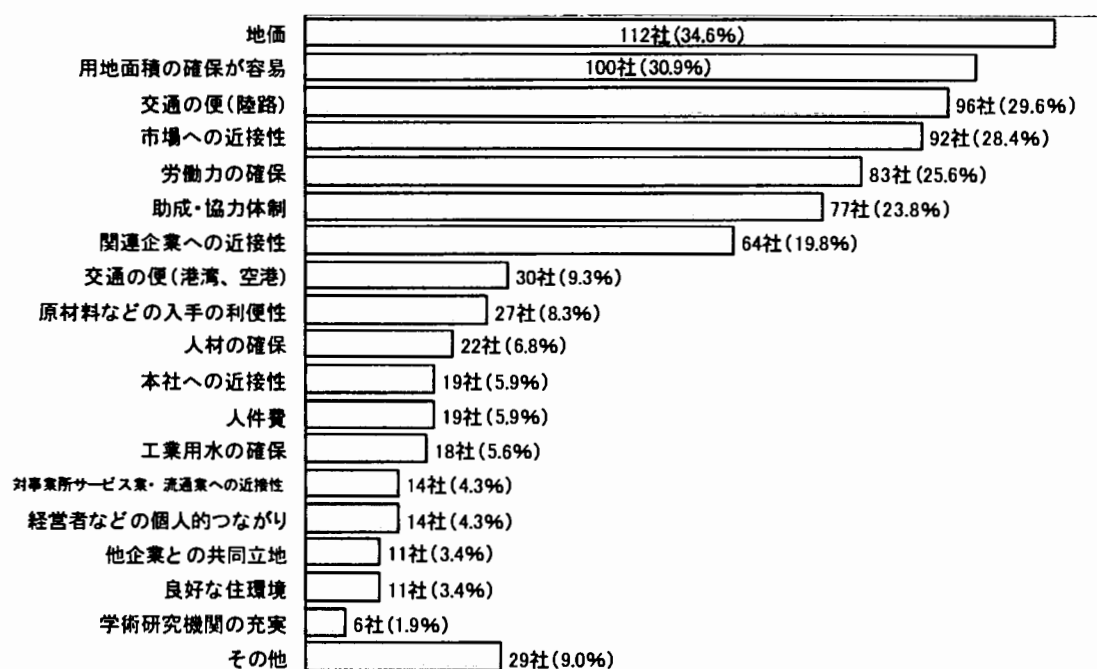
4. 立地先決定の重要要因

～ 3社に1社以上が「地価」を選択、重要度では「市場への近接性」がトップ

立地先（都道府県）の決定に際し重要となった要因については、複数回答の結果、「地価」が112社（選択率34.6%）で最も多かった。以下、「用地面積の確保が容易」が100社（同30.9%）、「交通の便（陸路）」が96社（同29.6%）だった。

これを重要度順にポイント化すると、最高ポイントは「市場への近接性」だった。同要因を最も重要度が高いとした企業が61社と群を抜いて多かったためである。

立地先決定の重要要因（n=324社）



注：複数回答。カッコ内数値は324社が選択した割合（選択率）。「答えられない」（7社）、無回答（14社）を除いている

立地先決定の重要要因

	ポイント	選択社数(社)		
		重要度1番	重要度2番	重要度3番
市場への近接性	235	92	61	21
地価	204	112	20	52
用地面積の確保が容易	193	100	24	45
交通の便(陸路)	184	96	24	40
労働力の確保	166	83	25	33
関連企業への近接性	166	64	43	16
助成・協力体制	121	77	16	12

注1：ポイント合計100ポイント以上のみの項目を掲載

注2：ポイントは重要度順に3(重要度1番)、2(同2番)、1(同3番)を乗じて合計している

例)市場への近接性・・・61×3+21×2+10×1=235

5. 立地先決定にあたり最も重視した自治体の誘致施策

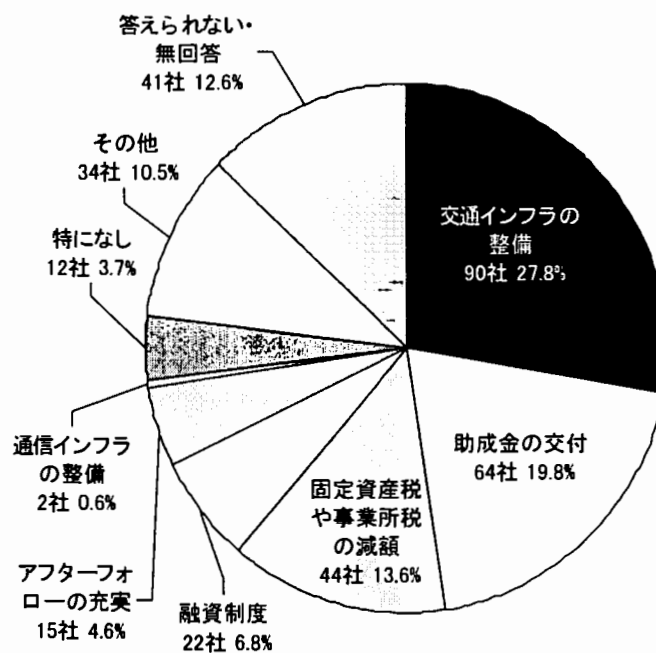
～「交通インフラの整備」が最多

立地先の決定にあたり最も重視した自治体の誘致施策については、「交通インフラの整備」が90社（構成比27.8%）で最も多かった。「助成金の交付」は64社（同19.8%）だった。

一方、「アフターフォローの充実」が15社（同4.6%）、その他の意見として「自治体の熱意・協力」も複数を数えるなど、「ヒト・モノ・カネ」の「ヒト」に関する支援への期待の高さがうかがえた。

最も重視した自治体の誘致施策

(n=324社)



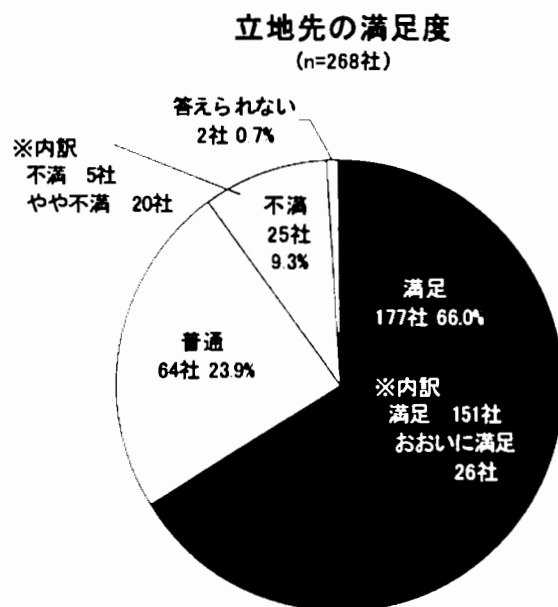
6. 立地に関する不満、自治体への要望

～ 立地先の満足度は3社に2社が満足

324社のうち、調査時点で立地施設が稼働済みの268社について立地先の満足度を尋ねたところ、「満足」と「おおいに満足」をあわせた“満足企業”は177社であり、約3社に2社を数えた。一方、「やや不満」と「不満」をあわせた“不満企業”は25社で、約1割だった。

“不満企業”の不満要因については、複数回答の結果、「交通の便（陸路）」が最も多く、25社中8社（選択率32.0%）が選択した。

自治体への要望・改善点について自由回答で尋ねたところ、光ファイバーをはじめとする通信インフラの整備、立地後のアフターフォローを求める声が複数にのぼった。



注：調査回答324社のうち、立地施設稼働済みの268社が対象

不満要因

(単位：社、%)

	合計	
	社数	選択率
交通の便(陸路)	8	32.0
労働力の確保	6	24.0
本社への近接性	4	16.0
交通の便(港湾、空港)	4	16.0
助成・協力体制	4	16.0
市場への近接性	3	12.0
用地面積の確保が容易	3	12.0
地価	3	12.0
原材料などの入手の利便性	2	8.0
人材の確保	2	8.0
対事業所サービス業・流通業への近接性	2	8.0
良好な住環境	2	8.0
関連企業への近接性	1	4.0
経営者などの個人的つながり	1	4.0
他企業との共同立地	1	4.0
学術研究機関の充実	1	4.0
未回答	1	4.0
その他	11	44.0
合計	25	—

注：複数回答。選択率は25社が選択した割合

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。

当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。報道目的以外の利用につきましては、著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および無断引用を固く禁じます。

十勝のチーズ工房一覧（平成20年4月現在）

連番		所 属	所在
1	十勝ブランド会員	有限会社 十勝野フロマージュ	中札内村
2	十勝ブランド会員	農事組合法人共働学舎新得農場	新得町
3	十勝ブランド会員	有限会社NEEDS	幕別町
4	十勝ブランド会員	有限会社エムシーコーポレーション 鹿追チーズ工房	鹿追町
5	十勝ブランド会員	有限会社ランランファーム	清水町
6	十勝ブランド会員	さらべつチーズ工房有限会社	更別村
7	十勝ブランド会員	株式会社あしよろ農産公社 エーデル・ケーゼ館	足寄町
8	十勝ブランド会員	北海道士幌高等学校	士幌町
9		ゼンキュウファーム	広尾町
10		有限会社 半田ファーム	大樹町
11		香林農園	帯広市
12		有限会社ハッピーネスフロマージュ	池田町
13		ミルクィーハウス多田	幕別町
14		にしかわ牧場	大樹町
15		株式会社花畑牧場 チーズ工房	中札内村
16		明治乳業株式会社十勝工場	芽室町
17		明治乳業株式会社十勝帯広工場	帯広市
18		雪印乳業株式会社大樹工場	大樹町
19		よつ葉乳業株式会社十勝主管工場	音更町
20		浦幌乳業	浦幌町

菓子店製造業者名簿一覧

	名 称	所在
1	おかし館のあくつ	帯広市
2	㈱あさひや	帯広市
3	ありがとう	帯広市
4	イズヤパン㈱	帯広市
5	今村菓子店	広尾町
6	パテスリーウエダ	広尾町
7	えびすや菓子店	清水町
8	お菓子のかほり	池田町
9	おかしの小松	池田町
10	お菓子のニシヤマ	更別村
11	お菓子の豊月	豊頃町
12	帯広豊月	帯広市
13	菓子の家	本別町
14	欧風ケーキ工房かねもり	本別町
15	クランベリー	帯広市
16	ケーキと菓菓子ユトリベルグ	帯広市
17	小林菓子店	芽室町
18	島菓子店	幕別町
19	じゅん&まき	清水町
20	松月菓子店	足寄町
21	杉野菓子店	幕別町
22	㈱静月	清水町
23	竹屋製菓	帯広市
24	棚谷菓子舗	池田町
25	中田光香堂	広尾町
26	ニシムラ	浦幌町
27	パテスリードブルボン	帯広市
28	広尾 秀月菓子舗	広尾町
29	広瀬菓子店	大樹町
30	風月庵	大樹町
31	福屋製菓	大樹町
32	北海道ホテル	帯広市
33	まさおか	芽室町
34	勇月菓子店	芽室町
35	㈱柳月	音更町
36	六花亭製菓㈱	帯広市
37	和洋菓子のみゆき	音更町
38	大草原の小さな家	鹿追町
39	小川企業㈱	帯広市
40	絵麗	帯広市
41	カフェロゼッタ	帯広市
42	㈱柏林台秀月	帯広市
43	㈱南製菓	帯広市

Märchen
Sweetland
Tokachi

菓子王国十勝

スタンパリー

2008

十勝産原材料を使った
「お菓子の家」づくり!



10スタンプで
「お菓子の家」組立会に
参加出来ます!

●30店走破賞(市外店15店舗以上含む)
「ロールケーキタオル」
プレゼント!



スタンプ
10個
集めて!

開催期間 2008

あなただけの「お菓子の家」を作ろう!!
さらに「お菓子の家」写真コンテストで豪華商品プレゼント!!

期間中、参加加盟店にて500円以上お買い上げでスタンプ1個!管内町村店最低4店以上を含む計10店をめくり、スタンプを10個貯めると「お菓子の家(クッキーの部分)」を組立会参加会場でプレゼント!!

<p>STEP1</p> <p>参加店でお菓子を 買ってスタンプ10個以上集める</p> <p>■500円以上で1スタンプ (※)市内6店、市外4店の計10店</p>	<p>STEP2</p> <p>スタンプ10個でお菓子の家がもらえ、 組立会参加資格を得る</p> <p>■1組1~3名までOK (但し、あ一人の場合は小学校5年生以上)</p>	<p>STEP3</p> <p>組立会参加のため予約する</p> <p>0120-25-5566</p> <p>■右記の組立日時よりお選び下さい 予約締切:6月27日 午後7:00</p>
<p>STEP6</p> <p>写真コンテスト入賞者には 豪華景品をプレゼント!!</p> <p>■7月12日加盟店店頭発表</p>	<p>STEP5</p> <p>お菓子の家を カメラでとって、 写真コンテストに応募!</p> <p>出上がり リシャ!</p>	<p>STEP4</p> <p>組立会に参加しお菓子の家を デコレーション!!</p> <p>■会場には10分前にお越し下さい ■4才未満のお子様は入室出来ません ■お菓子の家はお待ち帰りいただけます</p>

主催 **メルヘンスイーツランド十勝実行委員会** (北海道菓子工業組合十勝支部・帯広洋菓子協会)
後援 十勝支庁、帯広市、十勝町村会、帯広商工会議所、北海道十勝管内商工会連合会、十勝観光連盟、十勝圏振興機構、
東日本高速道路、北海道新聞帯広支社、十勝毎日新聞社、読売新聞帯広通信部、朝日新聞社帯広通信局、
日本経済新聞釧路支局、NHK帯広放送局、HBC帯広放送局、STV帯広放送局、HTB帯広支社、UHB釧路支社、
OCTV、FM-JAGA、FMウイング、北海道じゃらん、Chai、しゅん

4/26 土 6/27 金

組立日・時間 (下記から都合のよい日時を選び、ご予約下さい) **予約制**

①6月1日(日) ▶10:00~11:00 朝月スイートピア・ガーデン
②6月14日(土) ▶13:00~14:00 大樹町生涯学習センター TEL.01558-6-5555
③6月21日(土) ④6月22日(日) ⑤6月28日(土) ⑥6月29日(日)

Aコース/10:00~11:00 Bコース/13:00~14:00 Cコース/14:30~15:30
①~⑥は、A・B・Cコースからお選び下さい(朝月スイートピア・ガーデン)

組立会場 朝月スイートピア・ガーデン 菓子工房 宮更町下町更北9線西18
(6月14日コースのみ大樹町生涯学習センター)

当日持ち物 参加皆様のエプロンと三角巾・
スタンプカード (市外店4つ以上を含む10スタンプ押印のカード)

※会場には10分前にお越し下さい。
※予約時がしつぱいになった場合は他の日・時間へ変更していただく場合がございますので
あらかじめご了承ください。
※4歳未満のお子様は入室は、ケガの恐れがございますので、ご遠慮いただきます。

予約申込・お問い合わせ 朝月スイートピア・ガーデン 菓子工房
0120-25-5566 0155-32-5566

プレゼント 「お菓子の家」写真コンテスト

●最優秀賞/お菓子づくりの道具セット 1名様	●スイーツ/お菓子詰め合わせ 20名様
●優秀賞/お菓子づくりの体験工房 2名様	●北海道じゃらん入賞/オリジナル入浴剤ギフトセット 10名様
●ブルメイト/スカーター・六花環喫茶 6名様	

※30店走破賞(市外店15店舗以上含む) 「ロールケーキタオル」プレゼント(上記要項)

1 平野菓子舗
地場の糖やチーズなどを使った菓子製造販売。
東京市東区山崎4丁目1 TEL.0156-25-3095
営業時間/9:00-19:00
定休日/日曜日

2 Shōgetsu(しょうげつ)
創業58年。和菓子と洋菓子を真心込めて製造販売。
東京都足立区南千住1丁目1 TEL.0156-25-2225
営業時間/9:00-19:00
定休日/不定休

3 欧風ケーキ工房 かねもり
十勝産乳製品、小麦、卵を使ったこだわりのケーキ工房です。
中川郡本町北3丁目7-6 TEL.0156-22-3749
営業時間/9:00-19:00
定休日/木曜日

4 おかしの松月堂
大正6年創業の4代続く本町の老舗菓子店です。
中川市本町北3丁目3-7 TEL.0156-22-2580
営業時間/9:00-19:00
定休日/日曜日

5 お菓子の豊月
はるにれの木で有名な重慶町。十勝きんづば、銘菓の木の木など。
中川郡山崎町山崎本町1127 TEL.015-574-2150
営業時間/8:30-19:30
定休日/不定休

6 レストランよねくら
明治38年創業。池田駅前バナナ産園製造販売。
中川郡池田町大通1丁目27番地 TEL.015-572-2032
営業時間/9:00-20:00
定休日/木曜日

7 おかしの小松
昭和24年創業以来、池田町で和洋菓子製造。
中川郡池田町大通2丁目1 TEL.015-572-2228
営業時間/8:30-19:00
定休日/不定休

8 お菓子のかほり
「かほり」のお菓子をご利用下さい。ご来店お待ちしております。
中川郡池田町大通1丁目76 TEL.015-572-2613
営業時間/9:00-19:00(日曜-15時)
定休日/不定休

9 ハピネスデーリー
ワイン醸造から3分。アイスブリンのおいしいお店。
中川郡山崎町山崎103-2 TEL.015-572-2001
営業時間/9:30-17:30
定休日/なし

10 杉野菓子店
創業78年。時代と共に新しいお菓子を作り続けます。
中川郡山崎町山崎122 TEL.0155-64-2502
営業時間/8:30-18:30
定休日/なし

11 和洋菓子の店 みゆき
昭和60年創業。材料・製法共々「身体にやさしい」がテーマ。
河野郡本町本町大通5番4-1-14 TEL.0155-31-5983
営業時間/9:30-20:00
定休日/火曜日

12 大草原の小さな家
地元産材中心にこだわりの和洋菓子(お菓子)のチキナー(14ヶ所)のケルカス。
河野郡山崎町山崎11 TEL.0156-66-2200
営業時間/11:00-17:30-20:30
定休日/木曜日

13 お菓子のまさおか
大正6年創業。十勝・芽室の原材料を使いお菓子造りをしています。
河野郡山崎町山崎2丁目2 TEL.0155-62-2118
営業時間/8:00-20:00(日曜-15時)
定休日/なし(祝日休み)

14 手造り菓子の店 こばやし
洋生菓子を多量生産。おすすめはソフトワッフル。
河野郡山崎町山崎2丁目3 TEL.0155-62-2736
営業時間/8:30-20:00(日曜-15時)
定休日/水曜日

15 銘菓と洋菓子 静月
「ワッフル」「重しのちみつ」はインターネット販売もしています。「かほり」では販売していません。
上川郡本町本町2丁目7 TEL.0156-22-2203
営業時間/8:00-20:00(日曜-17時)
定休日/不定休

16 パティスリーありがとう 中札内店
新鮮タゴの中札ロールはいかがですか？
河野郡山崎町山崎1番3丁目1-32 TEL.0155-62-3000
営業時間/9:00-19:30
定休日/水曜日

17 福屋製菓
昭和5年創業。十勝の原材料にこだわり、パン・和洋菓子を販売。
広尾郡大町町山崎15 TEL.01558-2-3033
営業時間/9:30-19:30
定休日/日曜日

18 パティスリー・ナオヤヒロセ
昭和5年創業。4代続く菓子店。アンクルメ、プーチーなど。
広尾郡大町町山崎3番9 TEL.01558-2-3233
営業時間/8:00-20:00(日曜-17時)
定休日/なし

19 お菓子のニシヤマ
洋菓子、焼菓子、更別銘菓まで取り揃え。総菜14席あり。
河野郡山崎町山崎2丁目9 TEL.0156-22-2065
営業時間/9:30-19:30
定休日/日曜日

20 手創り菓子工房 いまわら
広尾町で4代続く菓子店。洋生菓子やべこ餅、六方焼などの和菓子もあり。
広尾郡大町町山崎1丁目44 TEL.01559-2-3005
営業時間/8:30-20:00
定休日/不定休

21 パティスリー・ウエダ
まごころのこもったお菓子で笑顔と幸せをあなたへ
広尾郡山崎町山崎1丁目12 TEL.01558-2-1930
営業時間/9:00-19:30
定休日/日曜日

22 秀月菓子舗
昭和39年創業。サンタの街でお菓子を造り続けています。
広尾郡山崎町山崎10丁目6 TEL.01558-2-3243
営業時間/8:00-20:00
定休日/不定休

23 サンタの街のお菓子屋さん 光香堂
昭和9年創業。サンタにちなみなお菓子を数種ご利用。
広尾郡山崎町山崎9丁目12 TEL.01558-2-3243
営業時間/9:00-19:30
定休日/水曜日

24 おかしの鮎のあくつ
十勝の小さな家でお菓子を作り続けています。
帯広市大正町本町3丁目9 TEL.0155-23-5426
営業時間/9:00-20:00
定休日/なし

25 柳月 大通本店
昭和22年創業。豊富な品揃えでお待ちしております。
帯広市大通町山崎15 TEL.0155-23-2771
営業時間/9:00-20:00
定休日/なし

26 柳月 スイートピア・ガーデン
十勝の広大な風景の中に建つ工場と併設された店舗です。
河野郡山崎町山崎9番18-2 TEL.0155-32-3366
営業時間/9:00-18:00
定休日/なし

27 柳月 トスカチーナ
柳月がプロデュースするイタリアンレストラン併設の店舗。
帯広市西3条南5丁目45-2 TEL.0155-38-3866
営業時間/10:00-21:00
定休日/なし

28 竹屋製菓 本店
大正14年創業。市内では最も歴史あるお店のひとつです。
帯広市東8条南7丁目19 TEL.0155-23-1758
営業時間/9:00-17:30
定休日/日曜日

29 六花亭 本店
昭和8年創業以来、お菓子づくりひとすじです。
帯広市西2条南9丁目16 TEL.0155-24-6666
営業時間/9:00-20:00
定休日/なし

30 六花亭 西3条店
国道38号線沿いで駐車場も広く利用しやすい立地です。
帯広市西3条南1丁目1 TEL.0155-21-6666
営業時間/9:00-19:00(7月中旬-8月中旬19:30まで)定休日/なし

31 六花亭 西帯店
緑の三角屋根が目印。地元者に親しまれています。
帯広市西22条南2丁目21-9 TEL.0155-41-6666
営業時間/9:00-19:00
定休日/なし

32 洋菓子専門の店 クランベリー・弥生通り店
明るい喫茶室でゆっくりケーキが味わえるお店です。
帯広市西9条南29丁目 TEL.0155-23-1758
営業時間/9:00-20:00
定休日/なし

33 洋菓子専門の店 クランベリー本店
自然を生かした手作りの味。創業以来変わらぬテーマです。
帯広市西2条南9丁目2-5 TEL.0155-22-6656
営業時間/9:00-21:00
定休日/なし

34 洋菓子専門の店 クランベリー白樺通り店
平成7年12月オープン。クランベリー3店舗目のお店です。
帯広市西20条南3丁目 TEL.0155-34-6656
営業時間/9:00-20:00
定休日/なし

35 たいやき工房 本店
どこを食べても十勝産小麦を使った美味しい焼菓子をお召し上がり下さい！
帯広市西3条南9丁目1 TEL.0155-24-2522
営業時間/10:00-19:00
定休日/なし

36 たいやき工房 エスタ店
どこを食べても十勝産小麦を使った美味しい焼菓子をお召し上がり下さい！
帯広市西2条南12丁目エスタ店西側 TEL.0155-20-2000
営業時間/8:45-20:00
定休日/不定休

【点数から切り取ってお待ちしております】

(1) 平野菓子舗	(2) 松月堂菓子店	(3) 欧風ケーキ工房かねもり	(4) おかしの松月堂	(5) お菓子の豊月	(6) レストランよねくら	(7) おかしの小松	(8) お菓子のかほり
(9) ハピネスデーリー	(10) 杉野菓子店	(11) 和洋菓子の店みゆき	(12) 大草原の小さな家	(13) お菓子のまさおか	(14) 手造り菓子の店こばやし	(15) 銘菓と洋菓子静月	(16) ありがとう中札内店
(17) 福屋製菓	(18) パティスリーナオヤヒロセ	(19) お菓子のニシヤマ	(20) 手造り菓子店いまわら	(21) パティスリーウエダ	(22) 秀月菓子舗	(23) サンタの街光香堂	(24) おかしの鮎あくつ
(25) 柳月大通本店	(26) 柳月スイートピアガーデン	(27) 柳月トスカチーナ	(28) 竹屋製菓本店	(29) 六花亭本店	(30) 六花亭西3条店	(31) 六花亭西帯店	(32) クランベリー弥生通り店
(33) クランベリー本店	(34) クランベリー白樺通り店	(35) たいやき工房本店	(36) たいやき工房エスタ店	(37) ル・カルフル	(38) 神外やあさひや	(39) ありがとう帯広店	(40) 華どら秀月
(41) ル・カルフル	(42) 北海道ホテル	期間中に加盟店の1店舗で500円以上お買い上げの方に1スタンプ(1店舗1回限り)。スタンプ10個(必ず帯広市以外の4店舗以上を含む)以上、「お菓子の家」づくりに参加できます。電話予約(先着受付)で、表面の成立日時をお選びいただき、当日会場でお菓子の家」をデザインして組み立て下さい。完成品は写真撮影後、お持ち帰りができます。後日行われる写真コンテストに入賞しますと、賞品が授与されます。また30店分のスタンプ(市外店15店舗以上含む)を集めた方には、「30店達成賞」を贈りますので、期間中にぜひチャレンジして下さい。					

レッツチャレンジ!!
スタンプラリー参加シート

市外店(ピンク)は4スタンプ以上必要です!
合計10スタンプ以上で抽選券に参加出来ます

●()内番号は、参加店番号を指しています
●柳月スイートピア・ガーデンは「帯広市内店」扱いとなります。

37 ケーキと菓菓子 ユトリベルグ
洋生菓子をはじめ、季節チーズ、十勝産乳タルトなどを販売。
帯広市西17条南4丁目15-7 TEL.0155-33-0134
営業時間/9:30-19:30
定休日/水曜日

38 手作りケーキ工房 あさひや
お子からお客様まで、喜んで食べていただけるケーキを作っています。
帯広市西19条南4丁目34-13 TEL.0155-38-2806
営業時間/9:00-20:00
定休日/月曜日(月曜日の場合は全日休み)

39 パティスリーありがとう 帯広店
ホワイト味、チョコ味の生チョコサンドが人気ですヨ
帯広市西1条南28丁目18 TEL.0155-20-1001
営業時間/10:00-20:00
定休日/水曜日

40 華どら 秀月
十勝産の小麦、卵、大豆を使用した14種類の創作どら焼き
帯広市西6条南5丁目18-1 TEL.0155-20-7711
営業時間/10:00-19:00
定休日/日曜日・祝日

41 帯広調理師専門学校 西宮パン工房 ル・カルフル
通算100%100%! 地場にとこだわり、体に優しいパンを製造
帯広市西10条南13丁目1 TEL.0155-27-5115
営業時間/11:00-18:30
定休日/日曜日・祝日

42 北海道ホテル
豊かな自然でリラクゼーション。アーバンリゾート。北海道ホテル。
帯広市西7条南18丁目1 TEL.0155-21-0001
営業時間/8:00-21:00(夜間7:30-)
定休日/なし

●ご住所 (フリガナ) ●お名前

今秋スタンプラリーに関するお知らせを必要としない方は×をつけて下さい

道内では、「ゴータ」を生産している事業所が20と最も多く、以下「カマンベール」、「クリーム」と続いている。また、製造しているチーズの種類も、大手メーカーの工場を除くと、1～3種の生産が多くなっている。

生産量については、道内ナチュラルチーズ生産者に実施したアンケート（「雪印乳業」、「明治乳業」、「森永乳業」、「よつ葉乳業」の大手4社は除く）の結果によると、次の表のようになっている。

図表2. 1. 8 道内事業者ごとのナチュラルチーズ生産量

(単位：kg)

		生産量合計	フレッシュ タイプ	白カビ タイプ	ウォッシュ タイプ	青カビ タイプ	セミハード タイプ	ハード タイプ
小 規 模	工房A	300					300	
	工房B	580	80				500	
	工房C	1,070		460		610		
	工房D	1,400	200	200	500		500	
	工房E	1,600			100		800	700
	工房F	1,700					1,700	
	工房G	3,520					2,500	1,020
	工房H	3,600					3,600	
	工房I	4,400			400		4,000	
	工房J	5,500	2,000				3,500	
	工房K	8,953	1,500				3,180	
中 規 模	工房L	16,000		15,000		1,000		
	工房M	20,841		20,841				
	工房N	24,000		24,000				
	工房O	26,000		11,000			15,000	
	工房P	100,000		100,000				

図表2. 1. 9 近年の生産の傾向

	フレッシュ タイプ	白カビ タイプ	ウォッシュ タイプ	青カビ タイプ	セミハード タイプ	ハード タイプ
大きく増加		3	1		1	
やや増加	1	3	1	2	6	1
横ばい	2	1			2	1
やや減少						
減少						
合計	3	7	2	2	9	2

生産量については、300kg～100,000kgと多様であり、「白カビタイプ」と「セミハードタイプ」のチーズを生産している事業所が多くなっている。

また、近年の生産の傾向についても、「白カビタイプ」、「セミハードタイプ」について増加していると答える事業所が多くなっており、近年「カマンベール」の増加が著しいという先述の統計データとも符合する。

北海道のナチュラルチーズ

Natural Cheese in Hokkaido

[Home](#)

[チーズ工場マップ](#)

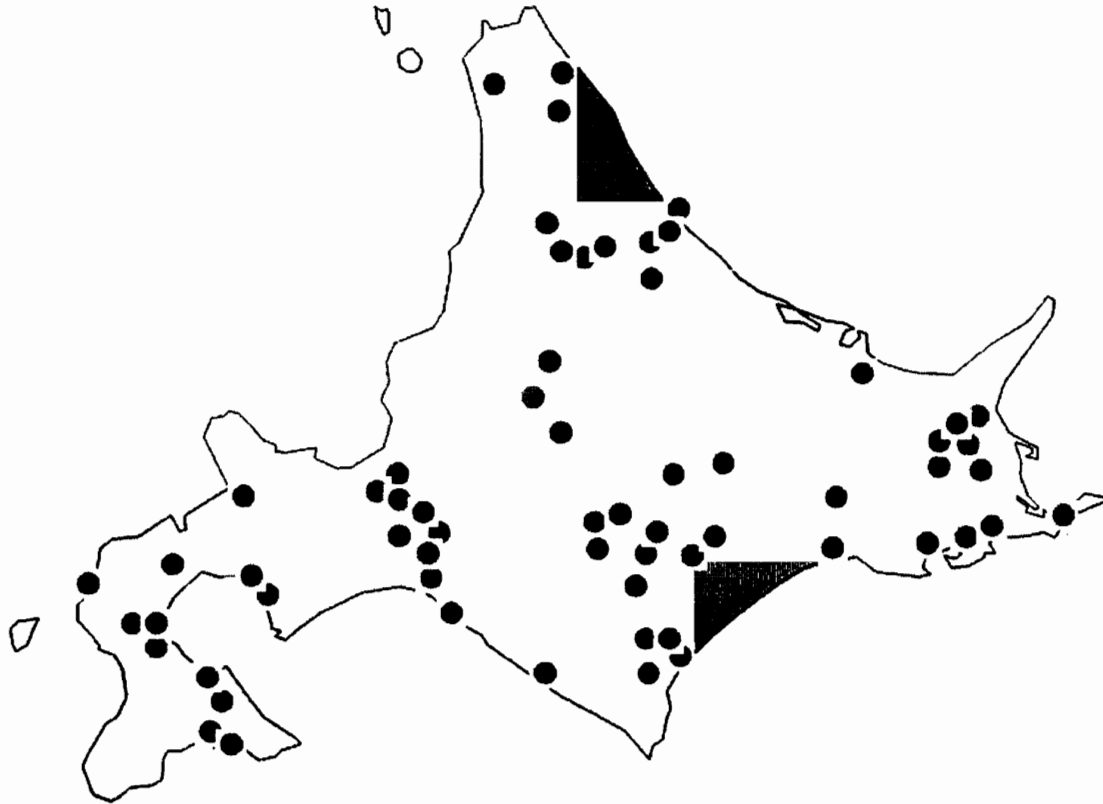
[チーズ工場リスト](#)

[チーズに関する統計](#)

[チーズの種類](#)

[チーズの研究結果](#)

地図上の●印をクリックしてください



> [北海道農業研究センターTop](#) > [北海道農業経営研究チームTop](#)

独立行政法人 農業・食品産業技術総合研究機構 北海道農業研究センター 北海道経営研究チーム
〒062-8555 北海道札幌市豊平区羊ヶ丘1 | tel/011-857-9308 fax/ 011-859-2178 e-mail/ kwaka@affrc.go.jp

北海道のナチュラルチーズ

Natural Cheese in Hokkaido

[Home](#)[チーズ工場マップ](#)[チーズ工場リスト](#)[チーズに関する統計](#)[チーズの種類](#)[チーズの研究成果](#)

工場・工場名をクリックすると、詳細な情報が下の地図上に表示されます。

● 石狩

- (株)北海道酪農公社
- 新札幌乳業(株)
- みるくのアトリエ 寺田牧場
- (有)北海道箱根牧場
- 酪農学園大学 乳製品製造学実習室
[大学生協]

● 渡島

- 北海道乳業(株)
- (株)函館酪農公社
- 久保田牧場 チーズ研究所
- (株)駒ヶ岳牛乳
- 八雲チーズ工房
- チーズ工房小粟
- 八雲ハンドメイドの会

● 桧山

- 近藤チーズ牧場

● 後志

- ノルマンディーチーズ(株)クレイル
- 黒松内町特産品 手づくり加工センター
[トワ・ヴェール]

● 空知

- 横市フロマージュ舎
- (株)長沼あいす酪乳品工房

● 上川

- (株)からの農産公社 富良野チーズ工房
- クリーマリー農夢
- 食彩工房 美花夢
- 北海道名寄農業高等学校
[みずならショップ]
- フロマジェリしもかわ
- (有)松山農場 シープミルクプラント

● 宗谷

- あくりネット宗谷(有) 工房レティエ
- ゆう子のチーズ小屋
- 高橋牧場チーズ工房

● 胆振

- (有)プロセスグループ 夢民舎
- (有)チーズ工房角谷
- (有)牧家
- (有)レークヒル牧場

● 日高

- 北海道日高乳業(株)
- 北海道静内農業高等学校
[あくり工房桜樹]

● 網走

- ひがしもこと乳酪館
- チーズ工房アドナイ(有)アドナイ
- 富田ファーム チーズ工房
- 工房シーサックル
- ノースブレインファーム(株)

● 十勝

- 雪印乳業(株) 大樹工場
- 明治乳業(株) 十勝工場
- よつ葉乳業(株) 十勝主管工場
- (株)あしよる農産公社
- にしかわ牧場
- (有)半田ファーム
- センキュウファーム
- (有)NEEDS 樹館
- (有)ハッピーネスフロマージュ
- 農事組合法人 共働学舎新得農場
- チーズ工房(有)十勝野フロマージュ
- (有)MCコーポレーション 鹿追チーズ工房
- 士幌町食品加工研修センター
(北海道士幌高等学校)
- (有)ランラン・ファーム 十勝千年の森

● 釧路

- 大友チーズ工房
- 厚岸チーズ工房なんくる
- (有)丹羽牧場 あっかんべえ
- 横井チーズ工房
- チーズ工房 白糠酪恵舎

● 根室

- 雪印乳業(株) 中標津工場
- 森永乳業(株) 別海工場
- (株)べっかい乳業興社 別海町酪農工場
- 中標津町畜産食品 加工研修センター
- (有)ラ・レトリなかしべつ
- 三友牧場チーズ工房
- フロマジュリー酪舎 小野寺牧場

National Agricultural Research Center for Hokkaido Region > Natural Cheese in Hokkaido

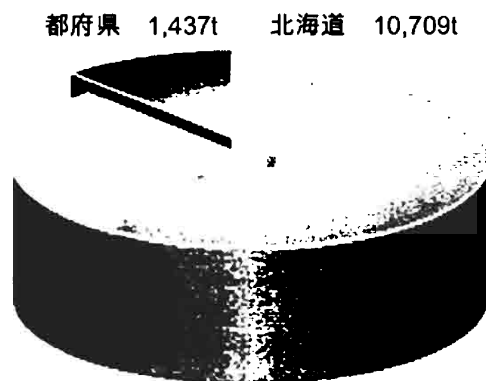
北海道のナチュラルチーズ

Natural Cheese in Hokkaido

[Home](#)[チーズ工場マップ](#)[チーズ工場リスト](#)[チーズに関する統計](#)[チーズの種類](#)[チーズの研究成果](#)

- ・ 北海道のナチュラルチーズ生産量
- ・ 国内のナチュラルチーズ需給推移
- ・ 日本のナチュラルチーズ輸入量
- ・ 世界の主要国・地域のナチュラルチーズ生産量

北海道のナチュラルチーズ生産量



国内における直接消費用ナチュラルチーズの生産量 (2004年度)

資料：農林水産省「牛乳乳製品統計」

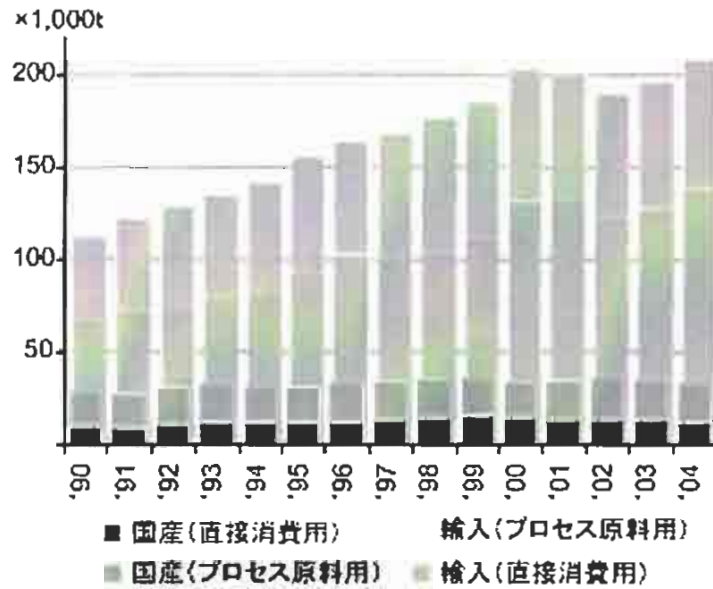
国内で生産される直接消費用ナチュラルチーズ*のうち、約9割が北海道で生産されています。

最近では、大手乳業メーカー以外にも、小規模なチーズ工房が道内各地で増えています。それぞれ、原料と製法にこだわった個性豊かなナチュラルチーズを製造しています。

*直接消費用ナチュラルチーズとは、プロセスチーズの原料以外のナチュラルチーズ

Topへ↑

国内のナチュラルチーズ需給推移



ナチュラルチーズの需給推移 ('90 ~ '04年度)

資料：農林水産省「チーズ需給表」

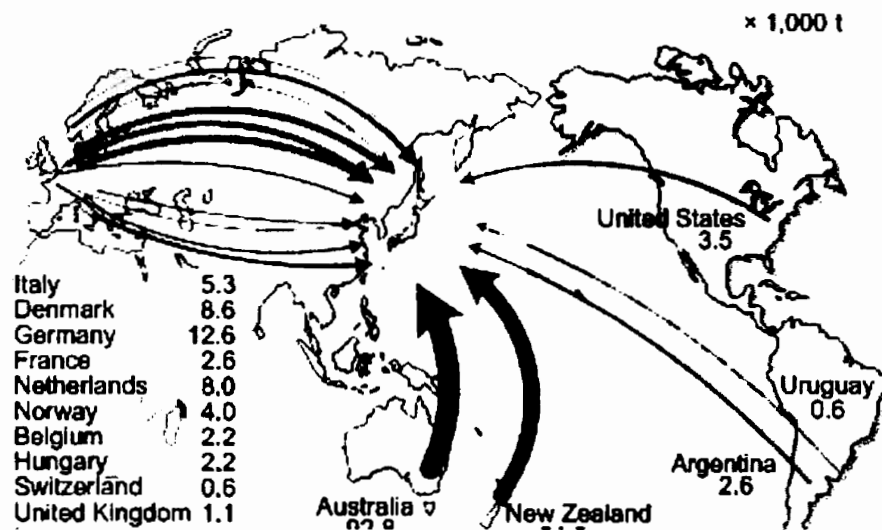
ナチュラルチーズは早い段階で貿易自由化されていたため、チーズの需要が拡大するなかで、ナチュラルチーズの輸入量は大幅に増加しました。

2004年度のナチュラルチーズ国産割合は、プロセスチーズ原料用で23%、直接消費ナチュラルチーズではわずか8%にすぎません。

しかし、1990年度と比べてみると、国産ナチュラルチーズの生産量は、プロセスチーズ原料用で117%、直接消費用で119%と増加しています。

Topへ↑

日本のナチュラルチーズ輸入量



主要国別*ナチュラルチーズ輸入量 (2005年)

資料: 財務省「貿易統計」

オセアニア地域のナチュラルチーズは、プロセスチーズの原料や業務用としての需要が高く、それらの国からの輸入量は欧米よりも圧倒的に多くなっています。

*ナチュラルチーズの輸入額が1億円以上の国

Topへ↑

世界の主要国・地域のナチュラルチーズ生産量



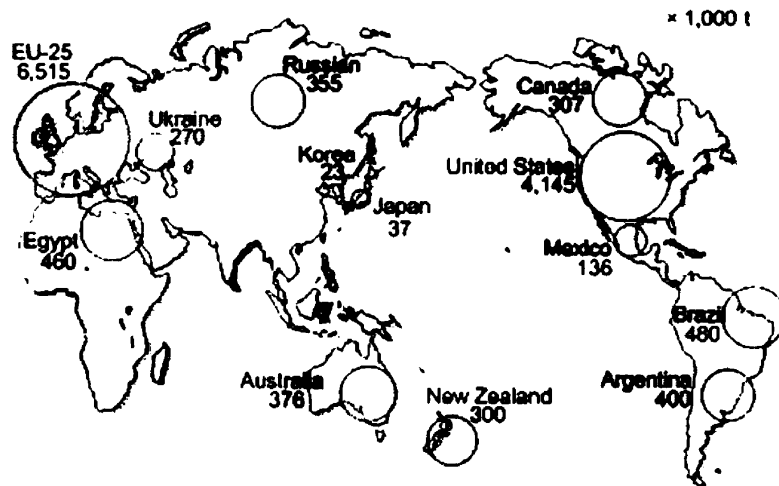
ナチュラルチーズは、フランスやイタリア、ドイツをはじめとするEU諸国以外にも、ヨーロッパ移民の多い北米や南米、オセアニアで多く生産されています。

主要国別*ナチュラルチーズ輸入量 (2005年)

資料: 財務省「貿易統計」

[Topへ↑](#)

世界の主要国・地域のナチュラルチーズ生産量



ナチュラルチーズは、フランスやイタリア、ドイツをはじめとするEU諸国以外にも、ヨーロッパ移民の多い北米や南米、オセアニアで多く生産されています。

なかでも、アメリカ合衆国はヨーロッパの国々を抑え、世界一の生産量を誇ります。

*カッテージチーズを含まない値

主要国・地域のナチュラルチーズ生産量 (2005年)

資料: USDA「Dairy: World Markets and Trade」

[Topへ↑](#)

> [北海道農業研究センターTop](#) > [北海道農業経営研究チームTop](#)

公表用

平成18年工業統計調査

十勝支庁管内

市町村別・産業細分類別事業所数・従業者数・製造品出荷額等

-従業者数4人以上-

平成20年2月

北海道十勝支庁地域振興部地域政策課

平成18年工業統計調査 産業細分類別事業所数・従業者数・年間出荷額等 -従業者数4人以上-

区分	09 食料品製造業																							
	091 畜産食料品製造業									092 水産食料品製造業														
	0911 肉製品製造業			0912 乳製品製造業			0919 その他の畜産食料品製造業			0923 水産練製品製造業			0924 塩干・塩蔵品製造業			0925 冷凍水産物製造業			0926 冷凍水産食品製造業			0929 その他の水産食料品製造業		
	事業所数	従業者数	出荷額等合計(万円)	事業所数	従業者数	出荷額等合計(万円)	事業所数	従業者数	出荷額等合計(万円)	事業所数	従業者数	出荷額等合計(万円)	事業所数	従業者数	出荷額等合計(万円)	事業所数	従業者数	出荷額等合計(万円)	事業所数	従業者数	出荷額等合計(万円)	事業所数	従業者数	出荷額等合計(万円)
17年支庁計	15	624	1,942,704	14	980	9,627,893	3	73	114,886	1	18	x	6	157	265,555	1	6	x	5	118	251,154	6	128	142,783
18年支庁計	15	648	1,955,269	15	1,000	9,736,173	3	69	117,590	1	19	x	6	155	263,373	2	59	x	2	68	x	3	97	109,746
帯広市	5	103	576,905	2	211	x	-	-	-	1	19	x	-	-	-	-	-	-	1	55	x	2	75	x
音更町	1	33	x	1	251	x	1	16	x	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
士幌町	1	42	x	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
上士幌町	-	-	-	1	12	x	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿追町	-	-	-	2	8	x	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新得町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
清水町	4	289	571,444	1	10	x	1	16	x	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
芽室町	1	84	x	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中札内村	-	-	-	1	9	x	1	37	x	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
更別村	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大樹町	1	16	x	2	346	x	-	-	-	-	-	-	1	28	x	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広尾町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	127	x	2	59	x	-	-	-	1	22	x
幕別町	-	-	-	1	7	x	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
池田町	2	81	x	1	14	x	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
豊頃町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
本別町	-	-	-	1	77	x	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
足寄町	-	-	-	1	6	x	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
陸別町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
浦幌町	-	-	-	1	49	x	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	13	x	-	-	-

(注)北海道十勝支庁まとめ、該当事業所のない産業(細)分類は掲載を省略した。

平成18年工業統計調査 産業細分類別事業所数・従業者数・年間出荷額等 -従業者数4人以上-

区 分	09 食料品製造業(つづき)																							
	093 野菜缶詰・果実缶詰・農産物保存食料品製造業						094 調味料製造業						095 糖類製造業			096 精穀・製粉業						097 パン・菓子製造業		
	0931 野菜缶詰・果実缶詰・農産物保存食料品製造業(野菜漬物を除く)			0932 野菜漬物製造業(缶詰,瓶詰,つぼ詰を除く)			0941 味そ製造業			0942 しょう油・食用アミノ酸製造業			0951 砂糖製造業(砂糖精製業を除く)			0961 精米業			0969 その他の精穀・製粉業			0971 パン製造業		
	事業所数	従業者数	出荷額等合計(万円)	事業所数	従業者数	出荷額等合計(万円)	事業所数	従業者数	出荷額等合計(万円)	事業所数	従業者数	出荷額等合計(万円)	事業所数	従業者数	出荷額等合計(万円)	事業所数	従業者数	出荷額等合計(万円)	事業所数	従業者数	出荷額等合計(万円)	事業所数	従業者数	出荷額等合計(万円)
17年支庁計	9	340	707,920	4	89	148,013	1	8	x	1	37	x	3	492	4,683,722	2	18	x	1	73	x	6	549	550,076
18年支庁計	8	340	696,742	4	84	145,558	1	7	x	1	35	x	3	455	4,707,003	2	18	x	1	90	x	5	490	474,786
帯 広 市	1	64	x	1	10	x	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	14	x	-	-	-	4	447	x
音 更 町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	43	x
士 幌 町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
上 士 幌 町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿 追 町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新 得 町	-	-	-	1	24	x	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
清 水 町	1	64	x	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	137	x	-	-	-	-	-	-	-	-	-
芽 室 町	2	124	x	-	-	-	-	-	-	1	35	x	1	172	x	-	-	-	1	90	x	-	-	-
中 札 内 村	1	28	x	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
更 別 村	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大 樹 町	-	-	-	1	27	x	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広 尾 町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
幕 別 町	-	-	-	1	23	x	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4	x	-	-	-	-	-	-
池 田 町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
豊 頃 町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
本 別 町	-	-	-	-	-	-	1	7	x	-	-	-	1	146	x	-	-	-	-	-	-	-	-	-
足 寄 町	1	9	x	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
陸 別 町	1	12	x	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
浦 幌 町	1	39	x	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(注)北海道十勝支庁まとめ。該当事業所のない産業(細)分類は掲載を省略した。

平成18年工業統計調査 産業細分類別事業所数・従業者数・年間出荷額等 -従業者数4人以上-

区分	09 食料品製造業(つづき)																							
	097 パン・菓子製造業									098 動植物油脂製造業			099 その他の食料品製造業											
	0972 生菓子製造業			0973 ビスケット類・干菓子製造業			0979 その他のパン・菓子製造業			0982 動物油脂製造業			0991 でんぷん製造業			0992 めん類製造業			0993 豆腐・油揚げ製造業			0994 あん類製造業		
	事業所数	従業者数	出荷額等合計(万円)	事業所数	従業者数	出荷額等合計(万円)	事業所数	従業者数	出荷額等合計(万円)	事業所数	従業者数	出荷額等合計(万円)	事業所数	従業者数	出荷額等合計(万円)	事業所数	従業者数	出荷額等合計(万円)	事業所数	従業者数	出荷額等合計(万円)	事業所数	従業者数	出荷額等合計(万円)
17年支庁計	6	578	1,522,313	1	618	x	3	274	546,554	1	12	x	5	56	338,160	14	245	277,951	7	108	63,945	4	82	144,281
18年支庁計	6	567	1,691,066	1	625	x	3	351	599,761	-	-	-	5	57	300,665	11	226	300,105	7	110	62,611	4	90	135,590
帯広市	2	30	x	1	625	x	1	335	x	-	-	-	1	9	x	3	37	13,183	1	22	x	3	36	x
音更町	1	236	x	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	17	x	-	-	-
士幌町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	10	x	-	-	-	-	-	-	-	-	-
上士幌町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4	x	-	-	-	-	-	-
鹿追町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	19	x	1	6	x	-	-	-
新得町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	17	x	-	-	-	-	-	-
清水町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	23	x	-	-	-	-	-	-
芽室町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中札内村	1	158	x	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	17	x	-	-	-	1	16	x	-	-	-
更別村	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	7	x	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大樹町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広尾町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	7	x	1	8	x	-	-	-
幕別町	1	132	x	-	-	-	1	8	x	-	-	-	-	-	-	2	85	x	1	20	x	-	-	-
池田町	1	11	x	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	34	x	-	-	-	1	54	x
豊頃町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
本別町	-	-	-	-	-	-	1	8	x	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
足寄町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	21	x	-	-	-
陸別町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
浦幌町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	14	x	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(注)北海道十勝支庁まとめ。該当事業所のない産業(細)分類は掲載を省略した。

平成18年工業統計調査 産業細分類別事業所数・従業者数・年間出荷額等 -従業者数4人以上-

区分	09 食料品製造業(つづき)									10 飲料・たばこ・飼料製造業														
	099 その他の食料品製造業									101 清涼飲料製造業									104 製水業			106 飼料・有機質肥料製造業		
	0995 冷凍調理食品製造業			0996 そう(惣)菜製造業			0999 他に分類されない食料品製造業			1011 清涼飲料製造業			1021 果実酒製造業			1024 蒸留酒・混成酒製造業			1041 製水業			1061 配合飼料製造業		
	事業所数	従業者数	出荷額等合計(万円)	事業所数	従業者数	出荷額等合計(万円)	事業所数	従業者数	出荷額等合計(万円)	事業所数	従業者数	出荷額等合計(万円)	事業所数	従業者数	出荷額等合計(万円)	事業所数	従業者数	出荷額等合計(万円)	事業所数	従業者数	出荷額等合計(万円)	事業所数	従業者数	出荷額等合計(万円)
17年支庁計	5	753	1,395,863	1	78	x	13	566	411,765	1	7	x	1	63	x	1	7	x	1	5	x	6	191	1,273,649
18年支庁計	5	621	1,409,815	1	74	x	13	380	522,367	1	6	x	1	64	x	1	7	x	1	5	x	7	193	1,255,936
帯広市	1	45	x	1	74	x	3	19	8,927	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	126	x
音更町	1	28	x	-	-	-	3	80	74,124	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	25	x
士幌町	2	497	x	-	-	-	1	29	x	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
上士幌町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿追町	-	-	-	-	-	-	1	5	x	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新得町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	7	x	-	-	-	-	-	-
清水町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
芽室町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	31	x
中札内村	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	6	x
更別村	-	-	-	-	-	-	1	82	x	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大樹町	-	-	-	-	-	-	1	8	x	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広尾町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	6	x	-	-	-
基別町	-	-	-	-	-	-	1	143	x	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	5	x
池田町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	6	x	1	64	x	-	-	-	-	-	-	-	-	-
豊頃町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
本別町	-	-	-	-	-	-	2	14	x	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
足寄町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
陸別町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滝川町	1	51	x	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(注)北海道十勝支庁まとめ、該当事業所のない産業(細)分類は掲載を省略した。

平成18年工業統計調査 産業細分類別事業所数・従業者数・年間出荷額等（従業者数4人以上）

区分	10 飲料・たばこ・飼料製造業(つづき)						12 衣服・その他の繊維製品製造業																	
	106 飼料・有機質肥料製造業						121 織物製外衣・シャツ製造業(和式を除く)						125 その他の衣服・繊維製身の回り品製造業			129 その他の繊維製品製造業								
	1062 単体飼料製造業			1063 有機質肥料製造業			1212 成人女子・少女服製造業			1215 事務用・作業用・衛生用・ｽｽﾞ-ﾌﾞ用衣服製造業			1254 靴下製造業			1291 寝具製造業			1293 帆布製品製造業			1295 刷しゅう業		
	事業所数	従業者数	出荷額等合計(万円)	事業所数	従業者数	出荷額等合計(万円)	事業所数	従業者数	出荷額等合計(万円)	事業所数	従業者数	出荷額等合計(万円)	事業所数	従業者数	出荷額等合計(万円)	事業所数	従業者数	出荷額等合計(万円)	事業所数	従業者数	出荷額等合計(万円)	事業所数	従業者数	出荷額等合計(万円)
17年支庁計	3	44	120,475	3	51	90,153	1	41	x	-	-	-	1	4	x	3	41	46,226	3	34	29,872	2	13	x
18年支庁計	4	59	234,827	3	52	104,589	1	46	x	1	10	x	-	-	-	3	38	43,323	3	38	27,548	2	13	x
帯広市	-	-	-	1	10	x	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	38	43,323	3	38	27,548	2	13	x
音更町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
士幌町	-	-	-	1	38	x	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
上士幌町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿追町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新得町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
清水町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
芽室町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中札内村	2	22	x	-	-	-	-	-	-	1	10	x	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
更別村	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大樹町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広尾町	1	11	x	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
幕別町	1	28	x	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
池田町	-	-	-	1	4	x	1	46	x	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
豊頃町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
本別町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
足寄町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
陸別町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
浦幌町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(注)北海道十勝支庁まとめ。該当事業所のない産業(細)分類は掲載を省略した。

平成18年工業統計調査 産業細分類別事業所数・従業者数・年間出荷額等 -従業者数4人以上-

区 分	12 衣服・その他の繊維製品製造業(つづき)						13 木材・木製品製造業(家具を除く)																				
	129 その他の繊維製品製造業						131 製材業, 木製品製造業						132 造作材・合板・建築用組立材料製造業														
	1299 他に分類されない繊維製品製造業						1311 一般製材業			1313 床板製造業			1314 木材チップ製造業			1321 造作材製造業(建具を除く)			1322 合板製造業			1323 集成材製造業			1324 建築用木製組立材料製造業		
	事業所数	従業者数	出荷額等合計(万円)	事業所数	従業者数	出荷額等合計(万円)	事業所数	従業者数	出荷額等合計(万円)	事業所数	従業者数	出荷額等合計(万円)	事業所数	従業者数	出荷額等合計(万円)	事業所数	従業者数	出荷額等合計(万円)	事業所数	従業者数	出荷額等合計(万円)	事業所数	従業者数	出荷額等合計(万円)	事業所数	従業者数	出荷額等合計(万円)
17年支庁計	1	9	x	24	448	778,604	1	9	x	4	31	90,195	-	-	-	2	127	x	1	11	x	1	8	x			
18年支庁計	1	10	x	24	464	922,913	1	7	x	3	14	51,685	1	8	x	2	128	x	1	11	x	1	15	x			
帯広市	1	10	x	3	106	234,410	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	61	x	1	11	x	-	-	-			
音更町	-	-	-	1	40	x	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
士幌町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	15	x			
上士幌町	-	-	-	2	24	x	-	-	-	-	-	-	1	8	x	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
鹿追町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
新得町	-	-	-	4	66	171,324	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
清水町	-	-	-	-	-	-	1	7	x	1	4	x	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
芽室町	-	-	-	2	24	x	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
中札内村	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
更別村	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
大樹町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
広尾町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
幕別町	-	-	-	2	56	x	-	-	-	1	4	x	-	-	-	1	67	x	-	-	-	-	-	-			
池田町	-	-	-	1	12	x	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
豊頃町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
本別町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
足寄町	-	-	-	5	88	146,311	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
陸別町	-	-	-	1	10	x	-	-	-	1	6	x	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
浦幌町	-	-	-	3	38	40,892	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			

(注)北海道十勝支庁まとめ、該当事業所のない産業(細)分類は掲載を省略した。

平成18年工業統計調査 産業細分類別事業所数・従業者数・年間出荷額等 -従業者数4人以上-

区 分	13 木材・木製品製造業(家具を除く)												14 家具・装備品製造業									15パルプ・紙・紙加工品製造業				
	132 造作材・合板・建築用組立材料製造業			133 木製容器製造業(竹,とうを含む)						139 その他の木製品製造業(竹,とうを含む)			141 家具製造業			143 建具製造業			149 その他の家具・装備品製造業			152 紙製造業				
	1326 銘板・銘木製造業			1332 折箱製造業			1333 木箱製造業(折箱を除く)			1399 他に分類されない木製品製造業(竹,とうを含む)			1411 木製家具製造業(漆塗りを除く)			1431 建具製造業			1491 事務所用・店舗用装備品製造業			1522 板紙製造業				
	事業所数	従業者数	出荷額等合計(万円)	事業所数	従業者数	出荷額等合計(万円)	事業所数	従業者数	出荷額等合計(万円)	事業所数	従業者数	出荷額等合計(万円)	事業所数	従業者数	出荷額等合計(万円)	事業所数	従業者数	出荷額等合計(万円)	事業所数	従業者数	出荷額等合計(万円)	事業所数	従業者数	出荷額等合計(万円)	事業所数	従業者数
17年支庁計	1	5	x	1	18	x	1	14	x	1	6	x	6	67	65,466	17	115	97,958	3	22	10,152	1	26	x		
18年支庁計	2	11	x	1	14	x	1	15	x	1	4	x	4	52	x	15	105	87,448	3	18	x	-	-	-		
帯 広 市	-	-	-	1	14	x	-	-	-	-	-	-	3	45	x	9	63	61,657	3	18	x	-	-	-		
音 更 町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	16	x	-	-	-	-	-	-		
士 幌 町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
上 士 幌 町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
鹿 追 町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
新 得 町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
清 水 町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	5	x	-	-	-	-	-	-		
茅 葺 町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	7	x	1	9	x	-	-	-	-	-	-		
中 札 内 村	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
夏 別 村	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
大 樹 町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
広 尾 町	-	-	-	-	-	-	1	15	x	-	-	-	-	-	-	1	4	x	-	-	-	-	-	-		
基 別 町	1	6	x	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	8	x	-	-	-	-	-	-		
池 田 町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
豊 頃 町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
本 別 町	1	5	x	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
足 寄 町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4	x	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
陸 別 町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
浦 幌 町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		

(注)北海道十勝支庁まとめ。該当事業所のない産業(細)分類は掲載を省略した。

平成18年工業統計調査 産業細分類別事業所数・従業者数・年間出荷額等 -従業者数4人以上-

区 分	15 パルプ・紙・紙加工品製造業(つづき)												16 印刷・関連業						17 化学工業						
	155 紙製容器製造業						155 紙製容器製造業			159 その他のパルプ・紙・紙加工品製造業			161 印刷業			169 印刷関連サービス業			171 化学肥料製造業			175 油脂加工製品・石けん・合成洗剤・界面活性剤・塗料製造業			
	1551 重包装紙袋製造業			1553 段ボール箱製造業			1554 紙器製造業			1599 他に分類されないパルプ・紙・紙加工品製造業			1611 印刷業			1691 印刷関連サービス業			1712 複合肥料製造業			1752 石けん・合成洗剤製造業			
	事業所数	従業者数	出荷額等合計(万円)	事業所数	従業者数	出荷額等合計(万円)	事業所数	従業者数	出荷額等合計(万円)	事業所数	従業者数	出荷額等合計(万円)	事業所数	従業者数	出荷額等合計(万円)	事業所数	従業者数	出荷額等合計(万円)	事業所数	従業者数	出荷額等合計(万円)	事業所数	従業者数	出荷額等合計(万円)	
17年支庁計	1	16	x	3	83	328,316	1	49	x	1	89	x	30	491	x	1	6	x	2	53	x	1	9	x	
18年支庁計	1	17	x	3	87	317,492	1	26	x	1	87	x	26	466	543,121	-	-	-	2	53	x	1	8	x	
帯 広 市	-	-	-	1	56	x	1	26	x	-	-	-	17	370	392,728	-	-	-	-	-	-	-	1	8	x
音 更 町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	46	112,696	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
士 幌 町	-	-	-	1	25	x	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
上 士 幌 町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4	x	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿 追 町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4	x	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新 得 町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
清 水 町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	87	x	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
芽 室 町	1	17	x	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	44	x	-	-	-	-
中 札 内 村	-	-	-	1	6	x	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
更 別 村	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大 樹 町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広 尾 町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	16	x	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
幕 別 町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	7	x	-	-	-	1	9	x	-	-	-	-
池 田 町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
豊 頃 町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
本 別 町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	19	x	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
足 寄 町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
陸 別 町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
浦 幌 町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(注)北海道十勝支庁まとめ。該当事業所のない産業(細)分類は掲載を省略した。

平成18年工業統計調査 産業細分類別事業所数・従業者数・年間出荷額等 -従業者数4人以上-

区分	17 化学工業(つづき)			18 石油製品・石炭製品製造業			19 プラスチック製品製造業(別掲を除く)						21 なめし革・同製品・毛皮製造業			22 窯業・土石製品製造業								
	176 医薬品製造業			184 舗装材料製造業			189 その他の石油製品・石炭製品製造業			192 プラスチックフィルム・シート・床材・合成皮革製造業			194 発泡・強化プラスチック製品製造業			217 袋物製造業			222 セメント・同製品製造業					
	1761 医薬品原薬製造業			1841 舗装材料製造業			1899 他に分類されない石油製品・石炭製品製造業			1925 プラスチックフィルム・シート・床材・合成皮革加工業			1944 強化プラスチック製容器・浴槽等製造業			2171 袋物製造業(ハンドバッグを除く)			2172 ハンドバッグ製造業			2222 生コンクリート製造業		
	事業所数	従業者数	出荷額等合計(万円)	事業所数	従業者数	出荷額等合計(万円)	事業所数	従業者数	出荷額等合計(万円)	事業所数	従業者数	出荷額等合計(万円)	事業所数	従業者数	出荷額等合計(万円)	事業所数	従業者数	出荷額等合計(万円)	事業所数	従業者数	出荷額等合計(万円)	事業所数	従業者数	出荷額等合計(万円)
17年支庁計	1	9	x	2	9	x	1	18	x	1	13	x	2	13	x	1	6	x	1	4	x	17	151	295,928
18年支庁計	1	9	x	2	10	x	1	15	x	1	19	x	2	13	x	-	-	-	1	4	x	17	125	292,401
帯広市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	19	x	-	-	-	-	-	-	1	4	x	3	14	27,784
音更町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4	x
士幌町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
上士幌町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	5	x
鹿追町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4	x
新得町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	8	x
清水町	-	-	-	1	4	x	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	8	x
芽室町	1	9	x	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	11	x
中札内村	-	-	-	-	-	-	1	15	x	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
更別村	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大樹町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	5	x
広尾町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	6	x
幕別町	-	-	-	1	6	x	-	-	-	-	-	-	1	8	x	-	-	-	-	-	-	1	19	x
池田町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	6	x	-	-	-	-	-	-	-	-	-
豊頃町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
本別町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	22	x
足寄町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	9	x
陸別町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
浦幌町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	11	x

(注)北海道十勝支庁まとめ。該当事業所のない産業(細)分類は掲載を省略した。

平成18年工業統計調査 産業細分類別事業所数・従業者数・年間出荷額等 -従業者数4人以上-

区分	22 窯業・土石製品製造業															23 鉄鋼業								
	222 セメント・同製品製造業			223 建設用粘土製品製造業(陶磁器製を除く)			224 陶磁器・同関連製品製造業			228 骨材・石工品等製造業						235 鉄素形材製造業			239 その他の鉄鋼業			239 その他の鉄鋼業		
	2223 コンクリート製品製造業			2232 普通れんが製造業			2246 陶磁器製タイル製造業			2281 砕石製造業			2283 石工品製造業			2351 鉄鉄鋼物製造業(鋳鉄管,可鍛鋳鉄を除く)			2391 鉄鋼シャースリット業			2399 他に分類されない鉄鋼業		
	事業所数	従業者数	出荷額等合計(万円)	事業所数	従業者数	出荷額等合計(万円)	事業所数	従業者数	出荷額等合計(万円)	事業所数	従業者数	出荷額等合計(万円)	事業所数	従業者数	出荷額等合計(万円)	事業所数	従業者数	出荷額等合計(万円)	事業所数	従業者数	出荷額等合計(万円)	事業所数	従業者数	出荷額等合計(万円)
17年支庁計	21	352	670,414	1	14	x	1	5	x	17	163	342,886	1	23	x	3	26	22,873	1	11	x	2	12	x
18年支庁計	21	355	572,294	1	14	x	1	4	x	18	194	495,633	1	23	x	2	21	x	1	12	x	2	16	x
帯広市	5	78	136,590	-	-	-	1	4	x	2	14	x	1	23	x	1	15	x	1	12	x	-	-	-
音更町	2	15	x	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	6	x	-	-	-	-	-	-
士幌町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
上士幌町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿追町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新得町	1	17	x	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
清水町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	38	x	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	10	x
芽室町	2	17	x	-	-	-	-	-	-	1	14	x	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中札内村	1	22	x	-	-	-	-	-	-	1	7	x	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	6	x
更別村	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大樹町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広尾町	1	10	x	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
幕別町	8	172	321,986	-	-	-	-	-	-	6	89	x	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
池田町	1	24	x	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
豊頃町	-	-	-	1	14	x	-	-	-	2	16	x	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
本別町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4	x	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
足寄町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
陸別町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	12	x	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
浦幌町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(注)北海道十勝支庁まとめ。該当事業所のない産業(細分類)は掲載を省略した。

平成18年工業統計調査 産業細分類別事業所数・従業者数・年間出荷額等 -従業者数4人以上-

区分	24 非鉄金属製造業			25 金属製品製造業												26 一般機械器具製造業								
	249 その他の非鉄金属製造業			252 洋食器・刃物・手道具・金物類製造業			254 建設用・建築用金属製品製造業(製缶板金業を含む)						257 金属線製品製造業(ねじ類を除く)			262 農業用機械製造業(農業用器具を除く)			263 建設機械・鉱山機械製造業					
	2499 他に分類されない非鉄金属製造業			2527 農業用器具製造業(農業用機械を除く)			2541 建設用金属製品製造業		2542 建築用金属製品製造業(建築用金物を除く)		2543 製缶板金業		2579 その他の金属線製品製造業			2621 農業用機械製造業(農業用器具を除く)			2631 建設機械・鉱山機械製造業					
	事業所数	従業者数	出荷額等合計(万円)	事業所数	従業者数	出荷額等合計(万円)	事業所数	従業者数	出荷額等合計(万円)	事業所数	従業者数	出荷額等合計(万円)	事業所数	従業者数	出荷額等合計(万円)	事業所数	従業者数	出荷額等合計(万円)	事業所数	従業者数	出荷額等合計(万円)	事業所数	従業者数	出荷額等合計(万円)
17年支庁計	1	14	x	3	118	169,479	18	199	298,861	11	83	193,913	8	58	53,706	3	99	183,422	28	513	845,932	-	-	-
18年支庁計	1	15	x	4	129	151,930	13	165	288,188	12	89	195,097	7	50	46,933	3	105	219,292	24	445	756,899	1	5	x
帯広市	-	-	-	2	112	x	5	76	125,524	5	39	48,315	5	39	41,100	1	63	x	8	209	366,871	1	5	x
音更町	-	-	-	1	6	x	2	27	x	1	10	x	-	-	-	1	33	x	4	42	64,801	-	-	-
士幌町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4	x	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
上士幌町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿追町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新得町	-	-	-	-	-	-	1	9	x	-	-	-	1	5	x	-	-	-	-	-	-	-	-	-
清水町	-	-	-	-	-	-	1	9	x	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
芽室町	-	-	-	1	11	x	4	44	x	4	30	116,494	-	-	-	-	-	-	6	98	168,999	-	-	-
中札内村	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	7	x	-	-	-
更別村	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大樹町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広尾町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
幕別町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	6	x	-	-	-	1	9	x	-	-	-	-	-	-
池田町	1	15	x	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
豊頃町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
本別町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	12	x	-	-	-
足寄町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	6	x	-	-	-	3	77	143,253	-	-	-
陸別町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
浦幌町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(注)北海道十勝支庁まとめ。該当事業所のない産業(細)分類は掲載を省略した。

平成18年工業統計調査 産業細分類別事業所数・従業者数・年間出荷額等 -従業者数4人以上-

区分	26 一般機械器具製造業(つづき)									27 電気機械器具製造業						29 電子部品・デバイス製造業						30 輸送用機械器具製造業		
	266 特殊産業用機械製造業			267 一般産業用機械・装置製造業			269 その他の機械・同部分品製造業			271 発電用・送電用・配電用・産業用電気機械器具製造業						291 電子部品・デバイス製造業						301 自動車・同附属品製造業		
	2661 食品機械・同装置製造業			2674 荷役運搬設備製造業			2699 各種機械・同部分品製造修理業(注文製造・修理)			2713 開閉装置・配電盤・電力制御装置製造業			2714 配線器具・配線附属品製造業			2916 コネクタ・スイッチ・リレー製造業			2918 プリント回路製造業			3012 3012 自動車車体・付随車製造業		
	事業所数	従業者数	出荷額等合計(万円)	事業所数	従業者数	出荷額等合計(万円)	事業所数	従業者数	出荷額等合計(万円)	事業所数	従業者数	出荷額等合計(万円)	事業所数	従業者数	出荷額等合計(万円)	事業所数	従業者数	出荷額等合計(万円)	事業所数	従業者数	出荷額等合計(万円)	事業所数	従業者数	出荷額等合計(万円)
17年支庁計	1	7	x	2	24	x	7	58	56,960	2	583	x	3	201	x	1	68	x	2	266	x	-	-	-
18年支庁計	-	-	-	3	29	x	6	53	64,187	2	801	x	3	202	x	1	66	x	1	145	x	1	8	x
帯広市	-	-	-	1	6	x	2	21	x	1	784	x	1	29	x	1	66	x	1	145	x	1	8	x
音更町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
士幌町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
上士幌町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿追町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新得町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
清水町	-	-	-	-	-	-	1	11	x	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
芽室町	-	-	-	1	5	x	1	7	x	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中札内村	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
更別村	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大樹町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広尾町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
幕別町	-	-	-	-	-	-	1	10	x	-	-	-	1	164	x	-	-	-	-	-	-	-	-	-
池田町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
豊頃町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	9	x	-	-	-	-	-	-	-	-	-
本別町	-	-	-	-	-	-	1	4	x	1	17	x	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
足寄町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
陸別町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
浦幌町	-	-	-	1	18	x	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(注)北海道十勝支庁まとめ。該当事業所のない産業(細)分類は掲載を省略した。

平成18年工業統計調査 産業細分類別事業所数・従業者数・年間出荷額等 -従業者数4人以上-

区 分	30 輸送用機械器具製造業(つづき)												31 精密機械器具製造業			32 その他の製造業								
	301 自動車・同附属品製造業(つづき)			303 船舶製造・修理業、船用機関製造業									309 その他の輸送用機械器具製造業			313 医療用機械器具・医療用品製造業			323 がん具・運動用具製造業			327 量・傘等生活雑貨製品製造業		
	3013 自動車部分品・附属品製造業			3031 船舶製造・修理業			3033 舟艇製造・修理業			3034 船用機関製造業			3099 他に分類されない輸送用機械器具製造業			3133 動物用医療機械器具製造業			3234 運動用具製造業			3271 変わり・パナマ類帽子・わら工品製造業		
	事業所数	従業者数	出荷額等合計(万円)	事業所数	従業者数	出荷額等合計(万円)	事業所数	従業者数	出荷額等合計(万円)	事業所数	従業者数	出荷額等合計(万円)	事業所数	従業者数	出荷額等合計(万円)	事業所数	従業者数	出荷額等合計(万円)	事業所数	従業者数	出荷額等合計(万円)	事業所数	従業者数	出荷額等合計(万円)
17年支庁計	3	37	59,456	1	31	x	1	18	x	1	6	x	2	10	x	-	-	-	3	29	28,393	1	6	x
18年支庁計	2	32	x	1	31	x	1	19	x	1	6	x	2	9	x	1	5	x	4	44	36,588	1	5	x
帯 広 市	2	32	x	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	9	x	1	5	x	1	4	x	-	-	-
音 更 町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
土 幌 町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
上 士 幌 町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿 追 町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新 得 町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
清 水 町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
芽 室 町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中 札 内 村	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
更 別 村	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大 樹 町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広 尾 町	-	-	-	1	31	x	1	19	x	1	6	x	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
幕 別 町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	6	x	1	5	x
池 田 町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
豊 頃 町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
本 別 町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	9	x	-	-	-
足 寄 町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	25	x	-	-	-
陸 別 町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
浦 幌 町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(注)北海道十勝支庁まとめ。該当事業所のない産業(細)分類は掲載を省略した。

平成18年工業統計調査 産業細分類別事業所数・従業者数・年間出荷額等 -従業者数4人以上-

区 分	32 その他の製造業(つづき)					
	327 量・傘等生活雑貨製品製造業			329 他に分類されない製造業		
	3272 量製造業			3292 看板・標識機製造業		
	事業所数	従業者数	出荷額等合計(万円)	事業所数	従業者数	出荷額等合計(万円)
17年支庁計	3	19	7,387	7	32	20,572
18年支庁計	1	7	x	5	23	16,121
帯 広 市	1	7	x	5	23	16,121
音 更 町	-	-	-	-	-	-
士 幌 町	-	-	-	-	-	-
上 士 幌 町	-	-	-	-	-	-
鹿 追 町	-	-	-	-	-	-
新 得 町	-	-	-	-	-	-
清 水 町	-	-	-	-	-	-
芽 室 町	-	-	-	-	-	-
中 札 内 村	-	-	-	-	-	-
更 別 村	-	-	-	-	-	-
大 樹 町	-	-	-	-	-	-
広 尾 町	-	-	-	-	-	-
幕 別 町	-	-	-	-	-	-
池 田 町	-	-	-	-	-	-
豊 頃 町	-	-	-	-	-	-
本 別 町	-	-	-	-	-	-
足 寄 町	-	-	-	-	-	-
陸 別 町	-	-	-	-	-	-
浦 幌 町	-	-	-	-	-	-

(注)北海道十勝支庁まとめ。該当事業所のない産業(細)分類は掲載を省略した。

平成18年工業統計調査 従業者規模別事業所数・従業者数・年間出荷額等 -従業者4人以上-

区分	4~9人			10~19人			20~29人			30~49人			50~99人			100~299人			300人以上			計		
	事業所数	従業者数	出荷額等合計(万円)	事業所数	従業者数	出荷額等合計(万円)	事業所数	従業者数	出荷額等合計(万円)	事業所数	従業者数	出荷額等合計(万円)	事業所数	従業者数	出荷額等合計(万円)	事業所数	従業者数	出荷額等合計(万円)	事業所数	従業者数	出荷額等合計(万円)	事業所数	従業者数	出荷額等合計(万円)
支庁計	190	1,155	1,573,726	112	1,550	3,278,711	47	1,156	1,938,789	28	1,093	4,151,793	25	1,669	5,684,461	17	2,721	13,549,211	6	2,864	6,786,979	425	12,208	36,983,670
帯広市	75	443	396,310	31	416	836,267	21	514	716,733	4	172	986,471	11	726	1,215,371	5	704	1,902,776	4	2,133	4,155,190	151	5,108	10,208,117
音更町	12	78	104,130	9	128	183,816	3	79	164,166	4	149	240,359	1	53	x	2	487	x	-	-	-	31	974	5,692,771
士幌町	1	4	x	2	25	x	2	54	x	2	80	x	-	-	-	1	107	x	1	390	x	9	660	1,737,084
上士幌町	4	21	35,143	3	36	56,078	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	57	91,219
鹿追町	6	27	x	1	19	x	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	46	x
新得町	5	36	54,784	4	60	153,758	1	24	x	1	33	x	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	153	341,438
清水町	11	64	94,705	7	89	252,670	1	23	x	-	-	-	2	151	x	2	395	x	-	-	-	23	722	1,567,949
芽室町	12	79	100,655	14	181	549,528	2	54	x	3	110	1,334,038	2	174	x	2	285	x	-	-	-	35	883	6,102,686
中札内村	7	47	188,675	5	74	144,188	2	50	x	1	37	x	-	-	-	1	158	x	-	-	-	16	366	987,755
更別村	1	7	x	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	82	x	-	-	-	-	-	-	2	89	x
大樹町	3	18	13,427	1	16	x	2	55	x	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	341	x	7	430	1,556,904
広尾町	8	50	39,370	8	109	279,849	1	22	20,000	4	164	353,694	-	-	-	-	-	-	-	-	-	21	345	692,913
幕別町	20	127	307,641	6	98	280,852	7	160	346,226	4	149	245,410	2	131	x	3	439	x	-	-	-	42	1,104	2,067,888
池田町	3	15	33,705	4	52	51,776	1	24	17,548	3	111	81,543	3	168	584,143	-	-	-	-	-	-	14	370	768,715
豊頃町	2	14	x	2	25	x	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	39	44,304
本別町	10	63	56,035	2	36	x	1	22	x	-	-	-	1	77	x	1	146	x	-	-	-	15	344	3,561,230
足寄町	6	41	28,636	5	73	113,785	3	75	x	-	-	-	1	56	x	-	-	-	-	-	-	15	245	343,245
陸別町	1	6	x	3	34	x	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	40	43,701
浦幌町	3	15	34,477	5	79	117,416	-	-	-	2	88	x	1	51	x	-	-	-	-	-	-	11	233	848,936

(注)北海道十勝支庁まとめ。

平成18年工業統計調査 十勝支庁管内産業細分類別・従業者規模別事業所数 -従業者数4人以上-

産業細分類	従業者規模							計
	4~ 9人	10~ 19人	20~ 29人	30~ 49人	50~ 99人	100~ 299人	300人 以上	
0911 肉製品製造業	4	3	1	4	2	1	-	15
0912 乳製品製造業	7	3	-	1	1	2	1	15
0919 その他の畜産食料品製造業	-	2	-	1	-	-	-	3
0923 水産練製品製造業	-	1	-	-	-	-	-	1
0924 塩干・塩蔵品製造業	1	2	1	2	-	-	-	6
0925 冷凍水産物製造業	-	1	-	1	-	-	-	2
0926 冷凍水産食品製造業	-	1	-	-	1	-	-	2
0929 その他の水産食料品製造業	-	-	2	-	1	-	-	3
0931 野菜缶詰・果実缶詰・農産保存食料品製造業(野菜漬物を除く)	1	2	1	1	2	1	-	8
0932 野菜漬物製造業(缶詰、瓶詰、つぼ詰を除く)	-	1	3	-	-	-	-	4
0941 味そ製造業	1	-	-	-	-	-	-	1
0942 しょう油・食用アミノ酸製造業	-	-	-	1	-	-	-	1
0951 砂糖製造業(砂糖精製業を除く)	-	-	-	-	-	3	-	3
0961 精米業	1	1	-	-	-	-	-	2
0969 その他の精穀・製粉業	-	-	-	-	1	-	-	1
0971 パン製造業	-	1	2	1	-	-	1	5
0972 生菓子製造業	1	1	1	-	-	3	-	6
0973 ビスケット類・干菓子製造業	-	-	-	-	-	-	1	1
0979 その他のパン・菓子製造業	2	-	-	-	-	-	1	3
0991 でんぷん製造業	2	3	-	-	-	-	-	5
0992 めん類製造業	4	2	3	1	1	-	-	11
0993 豆腐・油揚製造業	2	2	3	-	-	-	-	7
0994 あん類製造業	2	-	1	-	1	-	-	4
0995 冷凍調理食品製造業	-	-	1	1	1	1	1	5
0996 そう(惣)菜製造業	-	-	-	-	1	-	-	1
0999 他に分類されない食料品製造業	8	1	1	-	2	1	-	13
1011 清涼飲料製造業	1	-	-	-	-	-	-	1
1021 果実酒製造業	-	-	-	-	1	-	-	1
1024 蒸留酒・混成酒製造業	1	-	-	-	-	-	-	1

産業細分類	従業者規模							計
	4~ 9人	10~ 19人	20~ 29人	30~ 49人	50~ 99人	100~ 299人	300人 以上	
1041 製氷業	1	-	-	-	-	-	-	1
1081 配合飼料製造業	3	1	-	2	1	-	-	7
1082 単体飼料製造業	1	2	1	-	-	-	-	4
1083 有機質肥料製造業	1	1	-	1	-	-	-	3
1212 成人女子・少女服製造業	-	-	-	1	-	-	-	1
1215 事務用・作業用・衛生用・スポーツ用衣服製造業	-	1	-	-	-	-	-	1
1291 寝具製造業	1	1	1	-	-	-	-	3
1293 帆布製品製造業	2	-	1	-	-	-	-	3
1295 刺しゅう業	2	-	-	-	-	-	-	2
1299 他に分類されない繊維製品製造業	-	1	-	-	-	-	-	1
1311 一般製材業	3	16	1	3	1	-	-	24
1313 床板製造業	1	-	-	-	-	-	-	1
1314 木材チップ製造業	3	-	-	-	-	-	-	3
1321 造作材製造業(建具を除く)	1	-	-	-	-	-	-	1
1322 合板製造業	-	-	-	-	2	-	-	2
1323 集材製造業	-	1	-	-	-	-	-	1
1324 建築用木製組立材料製造業	-	1	-	-	-	-	-	1
1326 銘板・銘木製造業	2	-	-	-	-	-	-	2
1332 折箱製造業	-	1	-	-	-	-	-	1
1333 木箱製造業(折箱を除く)	-	1	-	-	-	-	-	1
1399 他に分類されない木製品製造業(竹、とうを含む)	1	-	-	-	-	-	-	1
1411 木製家具製造業(漆塗りを除く)	2	1	1	-	-	-	-	4
1431 建具製造業	12	3	-	-	-	-	-	15
1491 事務所用・店舗用装備品製造業	3	-	-	-	-	-	-	3
1551 重包装紙袋製造業	-	1	-	-	-	-	-	1
1553 段ボール箱製造業	1	-	1	-	1	-	-	3
1554 紙器製造業	-	-	1	-	-	-	-	1
1599 他に分類されないパルプ・紙・紙加工品製造業	-	-	-	-	1	-	-	1
1611 印刷業	13	6	5	-	1	1	-	26

平成18年工業統計調査 十勝支庁管内産業細分類別・従業者規模別事業所数-従業者数4人以上-

産業細分類	従業者規模							計
	4～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～99人	100～299人	300人以上	
1712 複合肥料製造業	1	-	-	1	-	-	-	2
1752 石けん・合成洗剤製造業	1	-	-	-	-	-	-	1
1761 医薬品原薬製造業	1	-	-	-	-	-	-	1
1841 舗装材料製造業	2	-	-	-	-	-	-	2
1899 他に分類されない石油製品・石炭製品製造業	-	1	-	-	-	-	-	1
1925 プラスチックフィルム・シート・床材・合成皮革加工業	-	1	-	-	-	-	-	1
1944 強化プラスチック製容器・浴槽等製造業	2	-	-	-	-	-	-	2
2172 ハンドバッグ製造業	1	-	-	-	-	-	-	1
2222 生コンクリート製造業	14	2	1	-	-	-	-	17
2223 コンクリート製品製造業	7	6	6	2	-	-	-	21
2232 普通れんが製造業	-	1	-	-	-	-	-	1
2246 陶磁器製タイル製造業	1	-	-	-	-	-	-	1
2281 砕石製造業	9	7	1	1	-	-	-	18
2283 石工品製造業	-	-	1	-	-	-	-	1
2351 鉄鉄鋳物製造業 (鋳鉄管、可鍛鋳鉄を除く)	1	1	-	-	-	-	-	2
2391 鉄鋼シャースリット業	-	1	-	-	-	-	-	1
2399 他に分類されない鉄鋼業	1	1	-	-	-	-	-	2
2499 他に分類されない非鉄金属製造業	-	1	-	-	-	-	-	1
2527 農業用器具製造業(農業用機械を除く)	2	1	-	-	-	1	-	4
2541 建設用金属製品製造業	7	4	1	1	-	-	-	13
2542 建築用金属製品製造業 (建築用金物を除く)	8	4	-	-	-	-	-	12
2543 製缶板金業	6	1	-	-	-	-	-	7
2579 その他の金属線製品製造業	1	-	-	1	1	-	-	3
2621 農業用機械製造業(農業用器具を除く)	12	7	3	-	1	1	-	24
2631 建設機械・鉱山機械製造業	1	-	-	-	-	-	-	1
2674 荷役運搬設備製造業	2	1	-	-	-	-	-	3

産業細分類	従業者規模							計
	4～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～99人	100～299人	300人以上	
2699 各種機械・同部分品製造修理業 (注文製造・修理)	3	3	-	-	-	-	-	6
2713 開閉装置・配電盤・電力制御装置製造業	-	1	-	-	-	-	1	2
2714 配線器具・配線付属品製造業	1	-	1	-	-	1	-	3
2916 コネクタ・スイッチ・リレー製造業	-	-	-	-	1	-	-	1
2918 プリント回路製造業	-	-	-	-	-	1	-	1
3012 自動車車体・附属車製造業	1	-	-	-	-	-	-	1
3013 自動車部分品・附属品製造業	-	2	-	-	-	-	-	2
3031 船舶製造・修理業	-	-	-	1	-	-	-	1
3033 舟艇製造・修理業	-	1	-	-	-	-	-	1
3034 舶用機関製造業	1	-	-	-	-	-	-	1
3099 他に分類されない輸送用機械器具製造業	2	-	-	-	-	-	-	2
3133 動物用医療機械器具製造業	1	-	-	-	-	-	-	1
3234 運動用具製造業	3	-	1	-	-	-	-	4
3271 麦わら・パナマ類帽子・わら工品製造業	1	-	-	-	-	-	-	1
3272 畳製造業	1	-	-	-	-	-	-	1
3292 看板・標識機製造業	5	-	-	-	-	-	-	5
計	190	112	47	28	25	17	6	425

(注)北海道十勝支庁まとめ。該当事業所のない産業(細)分類は掲載を省略した。

人と自然が共生するまちづくり

帯広市 新エネルギービジョン

帯広市役所 商工観光部工業課
TEL (0155) (0)24-4111 FAX (0155) (0)29-0172

平成14年2月

地域新エネルギービジョンの位置付け

帯広市は、まちづくりを進めるうえで総合的な指針としての性格を持つ「第五期帯広市総合計画(平成12年度～平成21年度)」(以下、総合計画と言う)において、目指す都市像を「人と自然が共生する 可能性の大地 『新世紀を拓く田園都市 おびひろ』～緑ひろがる北のフロンティア」と定め、まちづくりの目標の一つに「環境共生都市」を挙げている。その施策の中で、自然と共生する、循環型・環境保全型の地域づくりを基本方向に、未利用エネルギーの有効利用に取組むこととしており、この個別分野の計画でもある「帯広市環境基本計画」を平成12年3月に策定し、限りある資源を大切に使い、自然の恵みと力を活用するなどの基本目標を設定し、住宅用太陽光発電システム導入のための支援制度を創設したところである。

一方、総合計画の重点政策の一つである「産業活性化プロジェクト」では、その一環として十勝型産業クラスターづくりが位置付けられており、その拠点(中核施設)としての役割を担うことが期待される「(仮称)地場産業支援センター」の整備が予定されている。平成13年3月に策定された本センター基本構想の中では、新エネルギーを考慮した施設設計の検討を盛り込んでおり、本センターの施設自体が新エネルギーシステムを活用したプロジェクトの対象となることによって、十勝圏に適した機器等の技術開発や効率的なエネルギーシステムの確立などの技術蓄積に繋がるよう、基本計画・基本設計等の策定段階から、その導入を前提に一体的に検討を進める計画となっている。

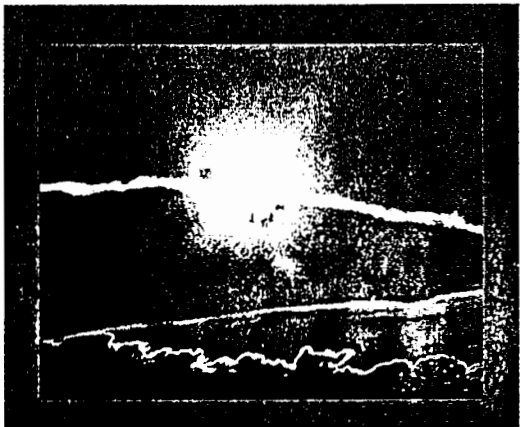
事業目的

帯広市では、地域全体としても地球温暖化防止対策を推進するために、この地域が持つ自然の力などを最大限に活かしながら、これまでの石油等の化石燃料に替わる新たなエネルギーの導入を促進することが、「人と自然が共生するまちづくり」を進める上で、極めて重要な施策であると考えている。

このように、資源循環型の社会システムが求められる社会環境にあっては、これからの企業活動を持続的に展開する上でもエネルギー・環境問題については、事業者として避けて通れない不可欠な課題となっており、地方公共団体として総合的に地場産業を支援する環境づくりを考慮すると、早期に「地域新エネルギービジョン」を策定し、地域特性にあった導入計画を進め、新エネルギーを活用した地場産業の育成や活性化を図ることが求められる。

新エネルギーの賦存量および技術・利用問題

新エネルギーの種類	NEDO補助対象	年間賦存量		利用可能量	利用条件	賦存量評価	技術上の課題	
		灯油換算	灯油換算				技術上の課題	利用上の課題
太陽光発電	○	1,551kWh/m ² 150L/m ²	186kWh/m ² 18L/m ²	変換効率12%	○	○	設置場所の確保(補助対象1000kWで8百数十m ² ～)	
太陽熱利用	○	1,551kWh/m ² 150L/m ²	400,149kWh/m ² 45L/m ²	集熱効率30%	○	○	設置場所の確保(補助対象1000m ² ～) 冬の熱不足、夏期の熱過剰	
風力発電	○	202kWh/m ² 20L/m ²	114,857kWh/m ² 11,098L/m ²	1,000kW級発電機	▲	○	積雪量が平年値としては少なく、年間積雪が大きい	
雷冷熱	○	48,000kWh/m ² 5L/m ²			○	○		
氷冷熱	○				○	○		
下水処理廃熱ヒートポンプ(利用温度5℃)	○	181,912Gcal 20,440kL			○	○	供給地に近接した有効な熱需要の確保	
温度差発電	×				○	○	高効率発電技術の普及 実証実験実施中	
家畜糞尿バイオガス	○	30,544kGcal 3,432kL	18,326Gcal 2,059kL	プラント効率60%	○	○	適切な土地の確保 適切な成分調整 集中方式での糞尿発生 集中方式プラントに近接した熱需要の確保	
下水汚泥バイオガス	○	15,391Gcal 1,729kL	9,285Gcal 1,038kL	プラント効率60%	○	○	プラントに近接した有効な熱需要の確保	
生ゴミバイオガス	○	34,765Gcal 3,906kL	20,859Gcal 2,344kL	プラント効率60%	○	○	プラントに近接した有効な熱需要の確保	
下水汚泥燃焼	○	18,152Gcal 2,040kL			○	○	プラントに近接した有効な熱需要の確保	
廃棄物発電	○	77,418Gcal 8,699kL			○	○	バイオガスを生産させない 過剰な熱発生	
木屑燃焼	○	79,875Gcal 8,975kL			○	○	バイオガスを生産させない たの熱発生による熱供給の有効活用	
熱利用: 廃プラスチック燃焼	○	31,168Gcal 3,502kL			○	○		
熱利用: 廃タイヤ燃焼	○	24,836Gcal 2,791kL			○	○		
アルコール発酵(甜菜)	×	96,721Gcal 10,868kL	12,174Gcal 1,368kL	生産熱量 390kcal/t	○	○	各エネルギー型別 分離技術の適用化 高効率に活用できるエネルギーの確保	
ガス化製造メタノール(甜菜)	×	67,637Gcal 7,600kL		乾燥重量 生成率50%	○	○	プラントでの 原料供給 廃棄物燃焼を利用したバイオマスの ガス化 十分な乾燥と脱水(1mm以下) が必要	
コージェネレーション	△				○	○	有効な熱需要の確保	
燃料電池	○				○	○		
グリーンエネルギー自動車	○				○	○	寒冷地における バッテリー容量 天然ガス・エタノール・メタノール利用は、燃料供給体制の整備 資源と適切な環境の確保	
地熱(深層熱水)	×	52,566Gcal		深層2,000mの生産 17年あたり1800t/日	○	○		
中小水力	○				○	○	平地で落差が小さいため、検討対象外とした。	
海洋(波力・潮流)	×				○	○	海洋に接しておらず、検討対象外。	
工場・発電所廃熱	○				○	○	事業所併合が中小工場のため、対象外とした。	
変電所・地下鉄等廃熱	○				○	○	検討対象外とした。	
地熱(発電)	○				○	○	検討対象外とした。	



帯広市において、どの新エネルギーを導入するのが良いのか、まず、賦存量および技術・利用課題から検討した。

検討対象として、「中小水力」「海洋(波力・潮流)」「工場・発電所廃熱」「変電所・地下鉄廃熱」「地熱(発電)」は除外した。帯広市は平地で落差が小さいため、「中小水力」は向かないものと考えられる。「海洋(波力・潮流)」は海に面していないので除外した。「工場・発電所廃熱」は中小工場が多いため、有効な熱回収ができないものと思われる。

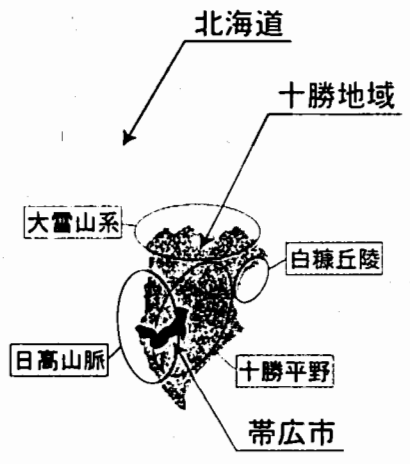
賦存量から見て、「風力発電」は利用効果が期待できない。モニュメントとしての情報発信が考えられるが、帯広らしさを表現することは期待できない。「雪冷熱」は降雪量が少ないものの、除排雪の集積を有効に活用することが可能である。「温度差発電」は実験段階の技術であり、技術上の課題から見て、現時点では効率的な利用を期待することはできないが、製品開発への取組が地域産業の技術振興に資するものと思われる。「下水処理廃熱ヒートポンプ」は、処理施設内の給湯・暖房の他には近隣に有効な熱需要先がなく、新たな需要先の立地を計画しなければ導入効果は少ない。「下水汚泥バイオガス」「共同式家畜糞尿バイオガス」「生ゴミバイオガス」「廃棄物発電・熱利用」の導入についても、廃熱の有効活用が可能となる施設の近接した立地が望ましい。「アルコール発酵」や「ガス化メタノール製造」は、製造過程で大きなエネルギーが消費されるが、「廃棄物発電・熱利用」などうまく組み合わせることにより製造効率が向上する。

帯広市の地域特性と 新エネルギー導入の必要性

帯広市の地域特性

帯広市は、北は大雪山系、西は日高山脈、東は白糠丘陵に囲まれた十勝平野の中心に位置する。面積は618.94km²で、市街地は北に集中し、十勝川と札内川にはさまれた北東の一帯に形成されている。南は大規模畑作地帯が続き、南西は山岳地帯となっている。大陸性気候で夏冬の寒暖の差が激しく、夏は30℃を超え、冬はマイナス20℃を下回る。また、全国的にも屈指の日照時間に恵まれている。

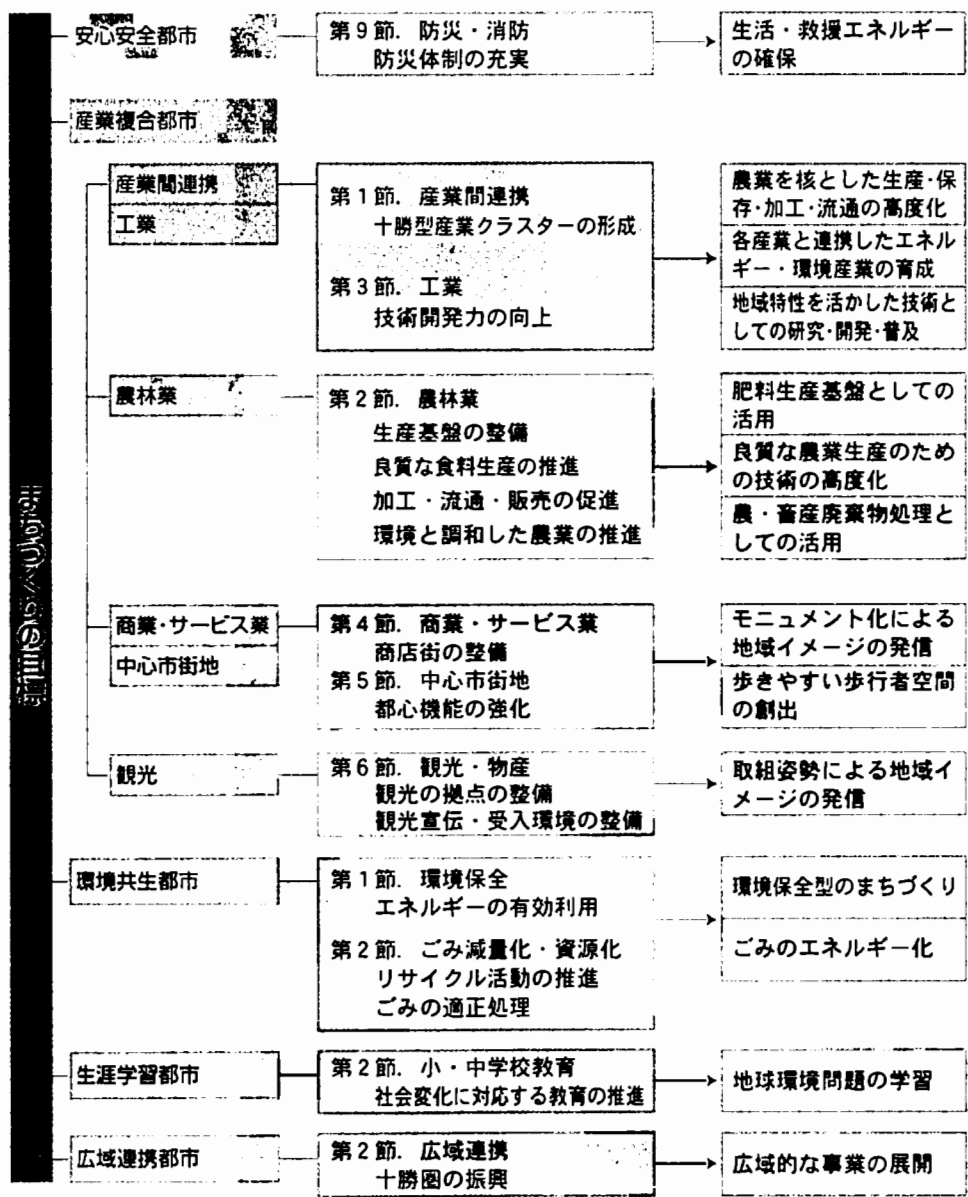
広域交通アクセスは、札幌まで車で(約210km)4時間15分、JRで2時間12分、東京までは飛行機で1時間35分の位置にある。近年道東自動車道、十勝清水～池田間の開通により、広域交通の利便性がさらに高まった。十勝の中核都市として都市機能が集積し、文化・情報の発信地としての役割を担っている。



「第五期帯広市総合計画」が目指す都市像
人と自然が共生する 可能性の大地
「新世紀を拓く田園都市 おびひろ」
～緑ひろがる北のフロンティア～

新エネルギー導入
において活かす
ことのできるテーマ

まちづくりから見た新エネルギー導入



新エネルギービジョン

太陽光発電

帯広市は全国的にみて日射時間が非常に長く、賦存量についての優位性が高い。「十勝晴れ」という言葉は帯広市民の郷土愛を象徴するものであり、観光をはじめ地域振興における情報発信としてのキーワードにもなっている。また、設備導入も比較的容易であり、住宅をはじめ都心部オフィス・業務施設、公共施設、工場等と適用範囲も広い。帯広市では、一般家庭における太陽光発電導入に対し独自の補助を行っており、この施策は今後も重点を置いて取り組む必要がある。以上の観点から、積極的な導入を進める必要があるものと思われる。

太陽熱利用

太陽エネルギーを利用するという点で、太陽光発電と同様に地域性を強く反映している。帯広市においては、20年程度前に普及定着するかにみえたが、寒冷地での技術的な問題から急激に導入件数が減って現在に至っている。しかし昨今、太陽熱利用は著しい進歩がみられている。また、地中熱ヒートポンプと併用すれば、より高い導入効果を得ることが可能と考えられる。

雪冷熱

帯広市の降雪量は、北海道の豪雪地帯といわれている地域と比べれば約3分の1程度であるが、除排雪の有効活用は可能である。帯広市では、個々の施設が自前で雪を集めるよりも、地区単位で集約的に利用する方が適しているものと思われる。雪冷熱は、新エネルギーのなかでもコストパフォーマンスに優れているほか、フィルタ機能など優れた特性を持っており、技術の活用範囲が広い。農作物、加工食品に対する価値の付加およびその保存など、農業を基幹産業とする帯広市としては、将来を見据え、導入を検討すべきであろう。

氷冷熱

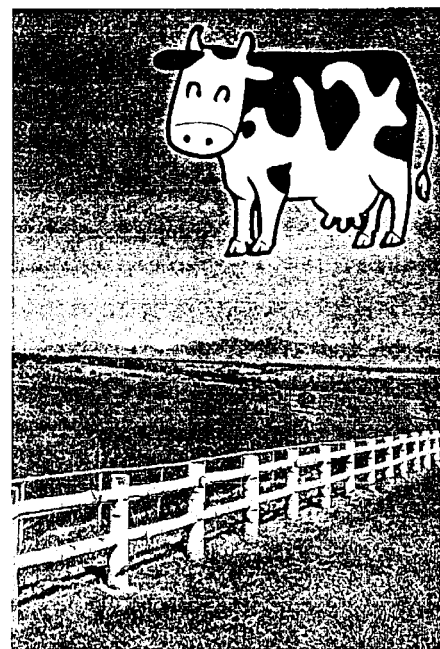
帯広市の寒冷な気候から、地域特性にあった新エネルギーと位置付けられる。貯水庫のメンテナンスはほとんど不要と言われており、住宅をはじめ都心部オフィス・業務施設、公共施設、工場等における冷房に適している。氷冷熱は、雪冷熱同様、農作物保存、食品加工に対する適用にも効果的である。また、既に地元企業数社において取組が行われており、行政としても、このような動きと連携し、将来を見据え導入を検討すべきであろう。

家畜糞尿バイオマス

バイオガスプラントはまだまだ高価であるため、家畜糞尿の利用先としては、現状、肥料が優先されると考えられる。また、バイオガス発生のさいに出る副産物である消化液の消費先も問題である。

しかし、家畜糞尿の賦存量が豊富であることのほか、地元企業が地域に適合する安価なプラントづくりを試みていること、また、平成11年11月に施行された「家畜排泄物の管理の適正化及び利用促進に関する法律」により、酪農経営者は平成16年11月までに適切な家畜糞尿の処理対応をしなければならないこと、そして、バイオガスは将来、燃料電池やマイクロガスタービンといった分散型発電での使用などにおいて有望な燃料となることを見込まれることなどから、バイオガスプラントについては、将来をにらんで検討する必要がある。

風力発電・下水処理廃熱ヒートポンプ・温度差発電・下水汚泥バイオガス・生ゴミバイオガス・廃棄物発電・熱利用・木質バイオガス・エネルギー作物・地熱



十勝バイオ・インダストリアル パーク(構想)

資源の利活用

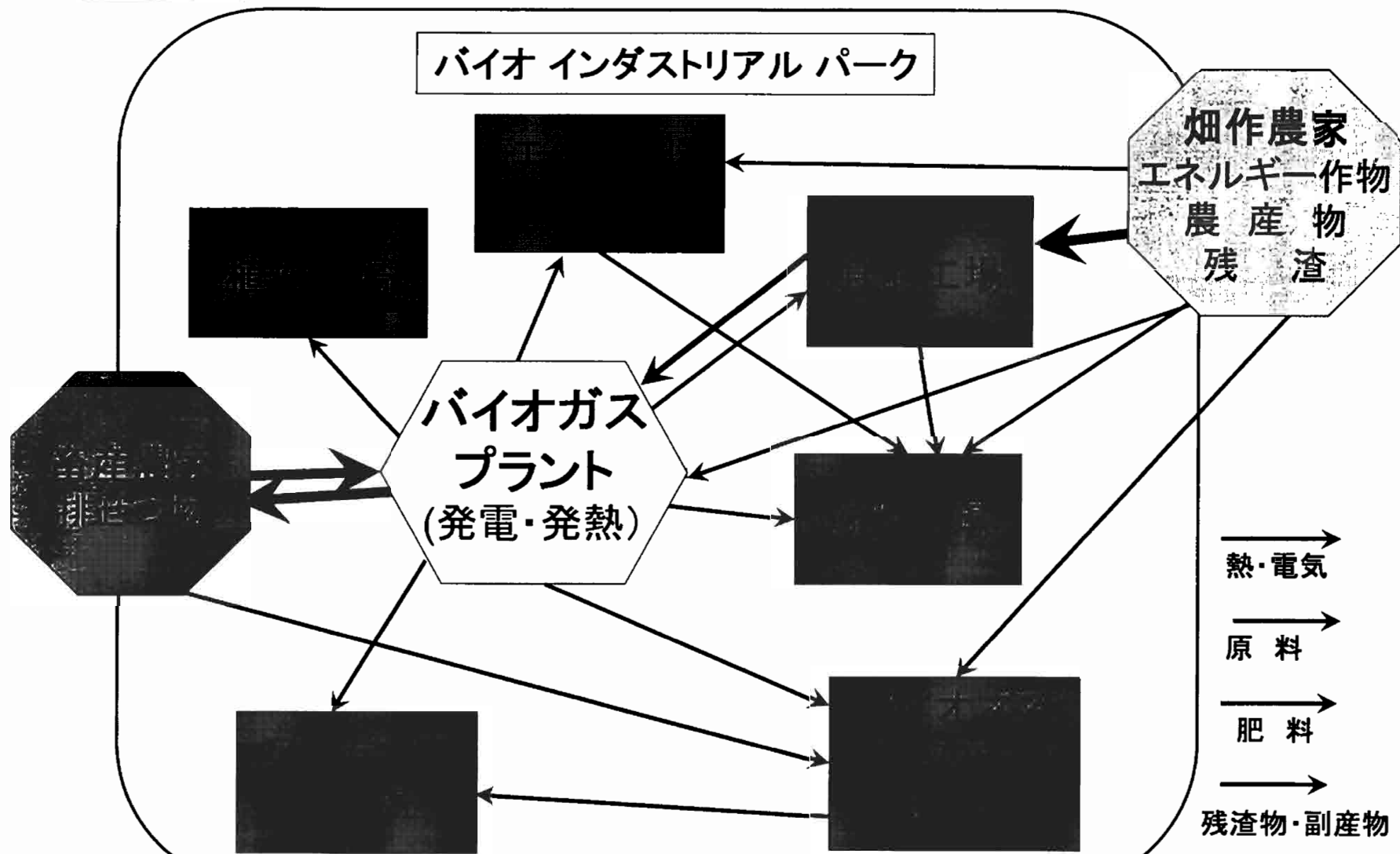
地域の豊富なバイオマス資源を利活用して、新しいバイオ関連産業を興し、これらを集約して相互の効率化を図る。

- 日本有数の農業地域である十勝地方にはバイオマス資源が豊富である。
- 関連企業を集約することでエネルギーを相互利用できる。
- 原料をはじめ、副産物や残渣物の運搬コストが削減できる。

関連産業	発生資源	利活用エネルギー・商品
畜産農家 エタノール工場 チーズ工場	家畜糞尿 エタノール生成残渣物 チーズ残渣(ホエー)	電気、温水(熱)、アンモニア、バイオマスプラスチック、肥料 バイオマスプラスチック、飼料 電気、温水(熱)、飼料
食品工場	残渣物、洗浄水	電気、温水(熱)、飼料、肥料

規格外・過剰農産物 エネルギー作物		電気、温水(熱)、飼料、肥料 エタノール
植物工場		電気、温水(熱)、肥料

十勝バイオインダストリアルパーク(構想)



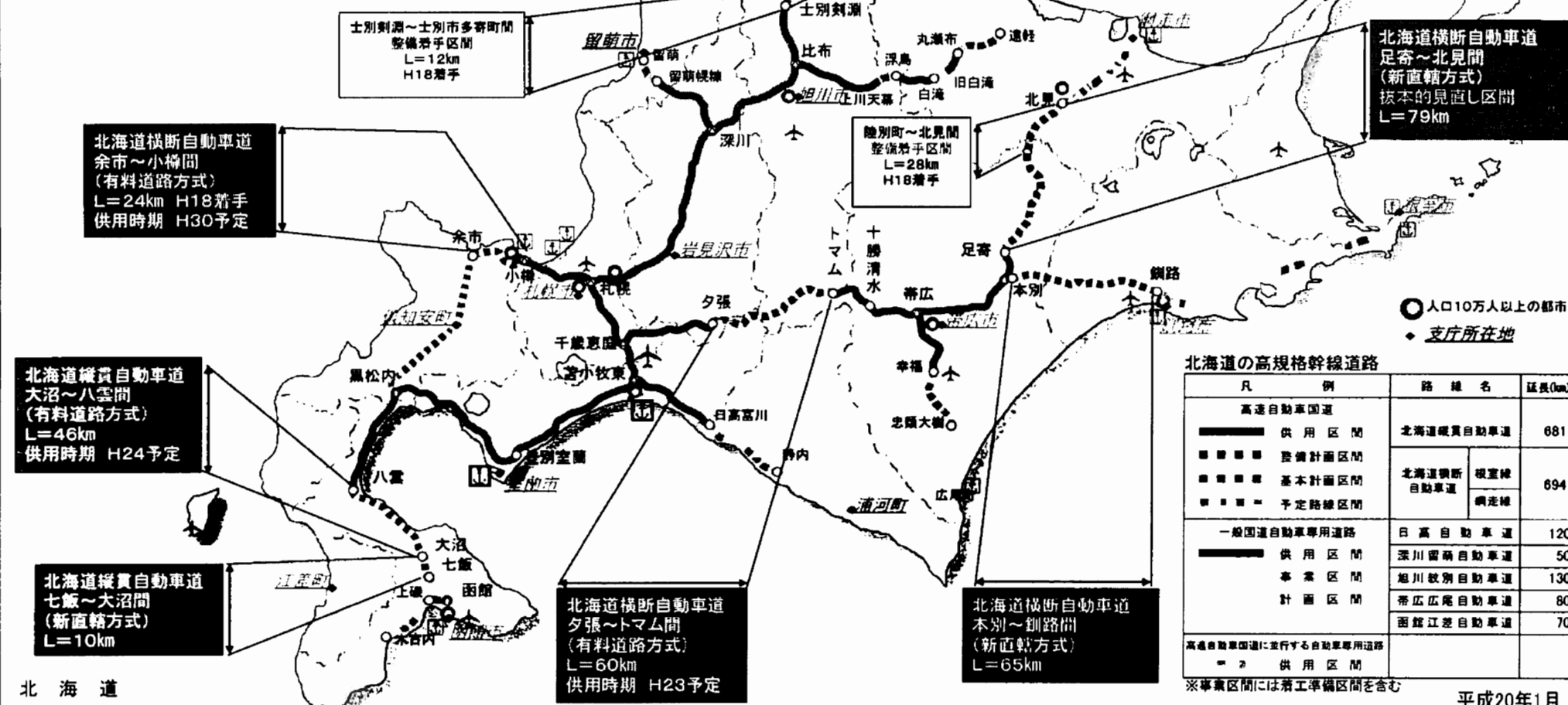
北海道高規格幹線道路網図

高規格幹線道路の整備状況

平成20年1月1日現在

区分	区域	総延長	整備計画延長	供用延長		北海道内 全国供用率
		(km)	延長(km)	率(%)	延長(km)	
高規格幹線道路	全区	14,000	11,119	79.4	9,200	65.7
	北海道	1,825	1,148	62.9	811	44.4
高速自動車区道	全区	11,520	9,342	81.1	(868)	65.0
	北海道	1,375	889	64.7	(52)	42.3
一般国道自動車専用道路	全区	2,480	1,777	71.7	1,044	42.1
	北海道	450	259	57.6	178	39.6

※()内は、高速自動車国道に並行する一般国道自動車専用道路の外置きであり、高規格幹線道路の設計には含まれていない。



北海道横断自動車道
余市～小樽間
(有料道路方式)
L=24km H18着手
供用時期 H30予定

士別刺淵～士別市多寄町間
整備着手区間
L=12km
H18着手

釧路町～北見間
整備着手区間
L=28km
H18着手

北海道横断自動車道
足寄～北見間
(新直轄方式)
抜本的見直し区間
L=79km

北海道縦貫自動車道
士別刺淵～名寄間
新直轄方式
L=24km

北海道縦貫自動車道
大沼～八雲間
(有料道路方式)
L=46km
供用時期 H24予定

北海道縦貫自動車道
七飯～大沼間
(新直轄方式)
L=10km

北海道横断自動車道
夕張～トマム間
(有料道路方式)
L=60km
供用時期 H23予定

北海道横断自動車道
本別～釧路間
(新直轄方式)
L=65km

北海道の高規格幹線道路

凡 例	路線名	延長(km)
高速自動車国道		
供用区間	北海道縦貫自動車道	681
整備計画区間	北海道横断自動車道	694
基本計画区間		
予定路線区間	網走線	
一般国道自動車専用道路		
供用区間	日高自動車道	120
事業区間	深川留萌自動車道	50
計画区間	旭川紋別自動車道	130
	帯広広尾自動車道	80
	函館江差自動車道	70
高速自動車国道に並行する自動車専用道路		
供用区間		

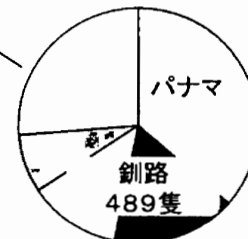
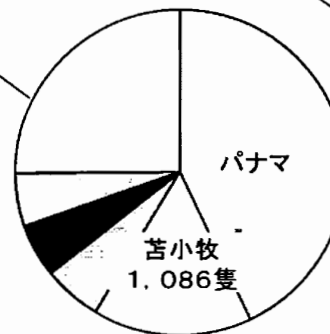
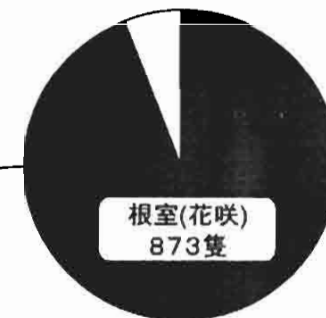
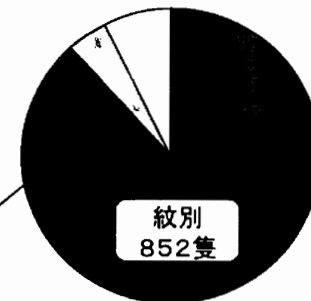
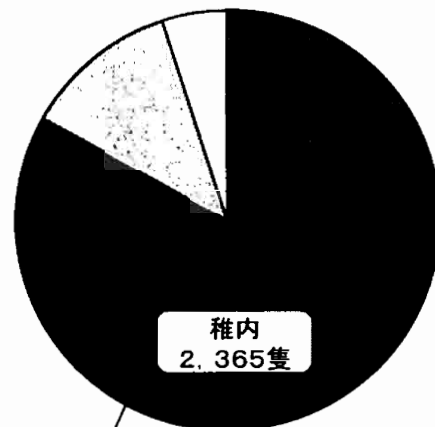
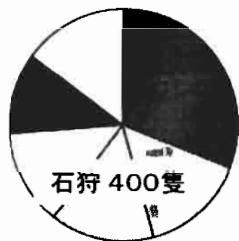
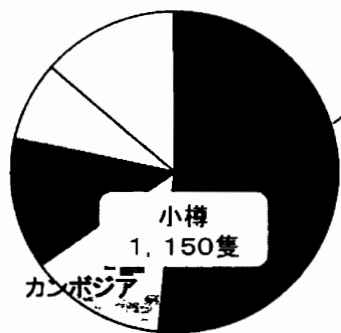
※事業区間には着工準備区間を含む

北海道各港の外国船入港状況

- 北海道に入港する外国船は、年間約8千隻
- 北海道に入港する外国船の約4割がロシア船

国別入港隻数	
ロシア	3,365隻
パナマ	1,187隻
カンボジア	764隻
韓国	333隻
シンガポール	99隻
その他	894隻
合計	8,421隻

対全国シェア 6.4%



資料 H17財務省貿易統計

北海道各港の内航船入港状況

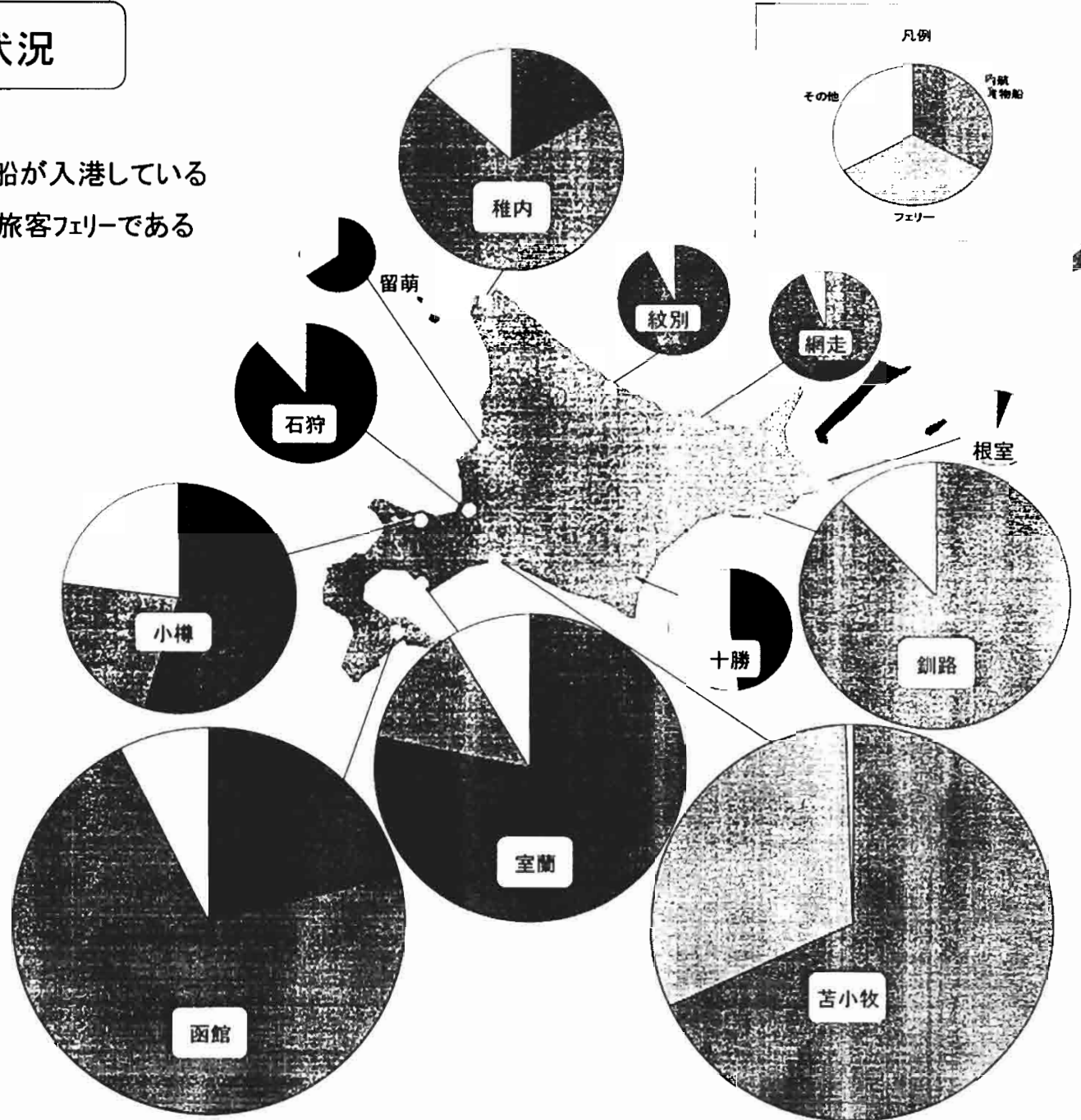
- 北海道各港には、年間4万4千隻の内航船が入港している
- 北海道各港に入港する内航船の35%は旅客フェリーである

単位：隻

	内航 貨物船	フェリー	その他	合計
小樽	1,910	630	758	3,298
函館	2,328	8,229	883	11,440
室蘭	5,188	860	702	6,750
苫小牧	6,937	3,235	49	10,221
釧路	3,399	0	638	4,037
留萌	324	0	254	578
稚内	562	2,228	423	3,213
石狩	1,176	0	126	1,302
十勝	630	0	867	1,497
根室	40	0	621	661
網走	718	0	57	775
紋別	843	0	70	913
合計	24,055	15,182	5,448	44,685

対全国シェア2%

資料 H16港湾統計



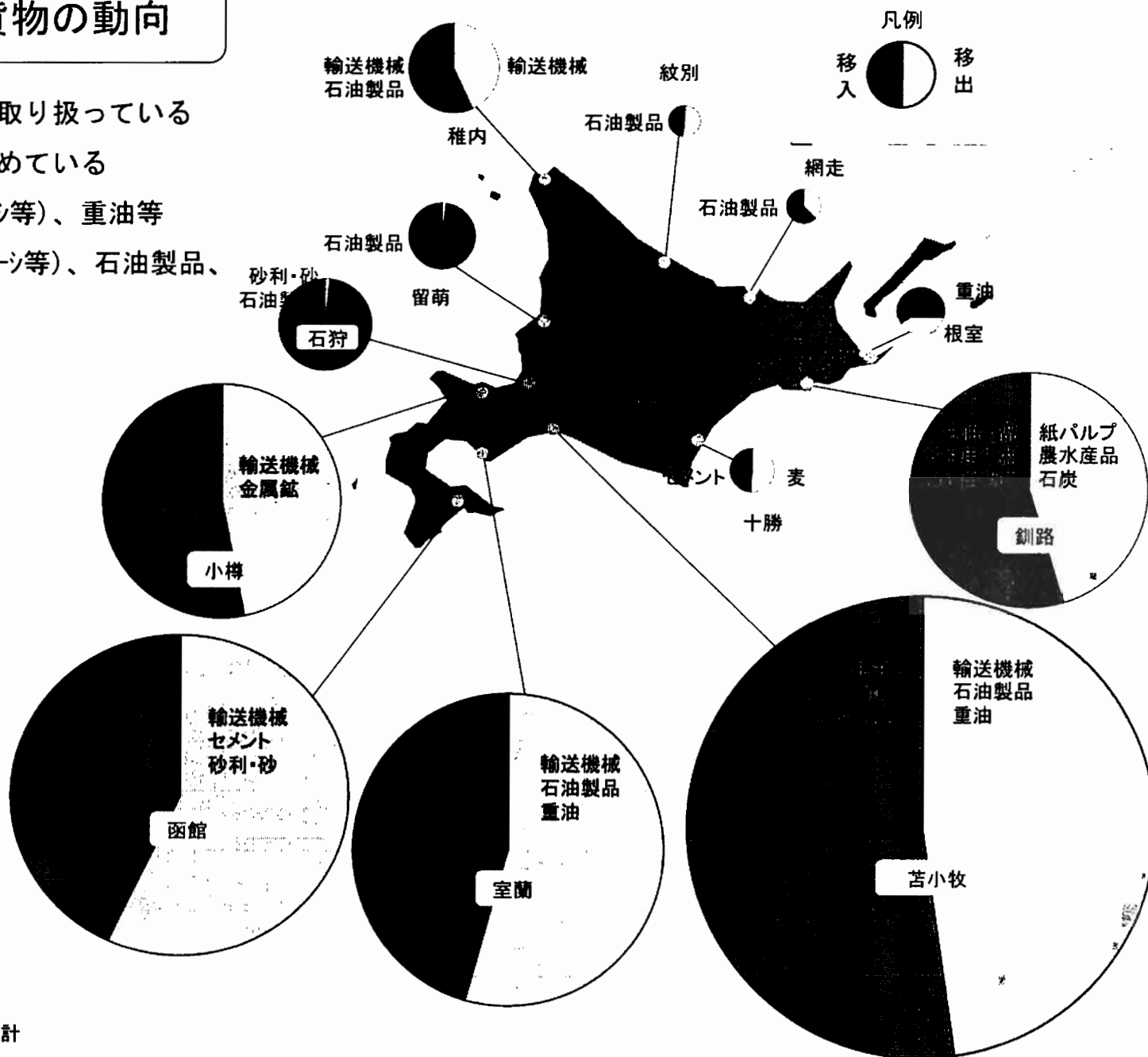
北海道各港の国内貨物の動向

- 年間1億8千万トンの貨物を取り扱っている
- 苫小牧港のシェアが5割を占めている
- 北海道→本州、輸送機械(シャシ等)、重油等
- 本州→北海道、輸送機械(シャシ等)、石油製品、完成自動車

単位 万フレートトン

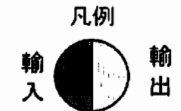
	移出	移入	合計
小樽	620	742	1,362
函館	1,802	1,365	3,167
室蘭	1,404	955	2,359
苫小牧	3,964	4,601	8,565
釧路	729	915	1,644
留萌	5	105	110
稚内	104	138	242
石狩	6	252	258
十勝	46	50	96
根室	54	24	78
網走	20	29	49
紋別	17	16	33
	8,771	9,192	17,963

・対全国シェア10.4% 資料 H16港湾統計



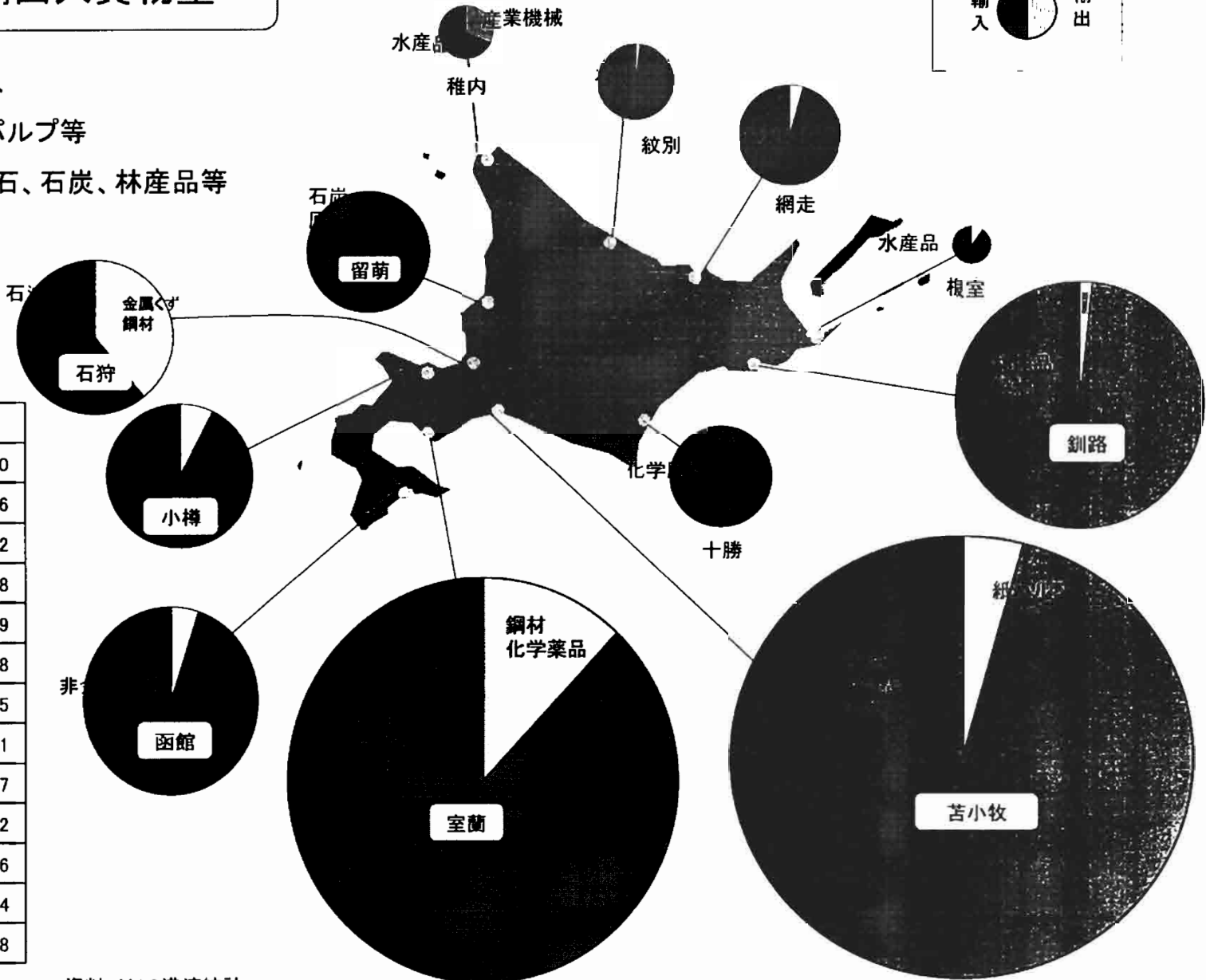
北海道各港の輸出入貨物量

- 輸出入の9割以上が輸入
- 主な輸出品、鋼材、紙・パルプ等
- 主な輸入品、原油、鉄鉱石、石炭、林産品等



単位: 万フレイトトン

	輸出	輸入	合計
小樽	7	53	60
函館	5	71	76
室蘭	113	1,459	1,572
苫小牧	90	1,548	1,638
釧路	12	437	449
留萌	0	38	38
稚内	2	3	5
石狩	33	38	71
十勝	2	25	27
根室	0	2	2
網走	1	15	16
紋別	0	14	14
	265	3,703	3,968



・対全国シェア3.28%

資料 H16港湾統計

港湾整備事業

- 十勝港の概要
- 十勝港の役割
- 整備計画
- 整備状況
- 利用状況
- お知らせ

十勝港の概要

1. 位置

十勝港は太平洋に面した広尾町にあり、えりも岬の北北東約42km、釧路港の西南約120kmの地点に位置しています。

背後圏である十勝支庁は1市16町2村からなり、面積は10,831km²、人口は約36万人(平成19年2月末現在)です。

十勝港から本州の主要な港湾までの海上距離は、道内の主要港湾の中では最短距離に位置しています。



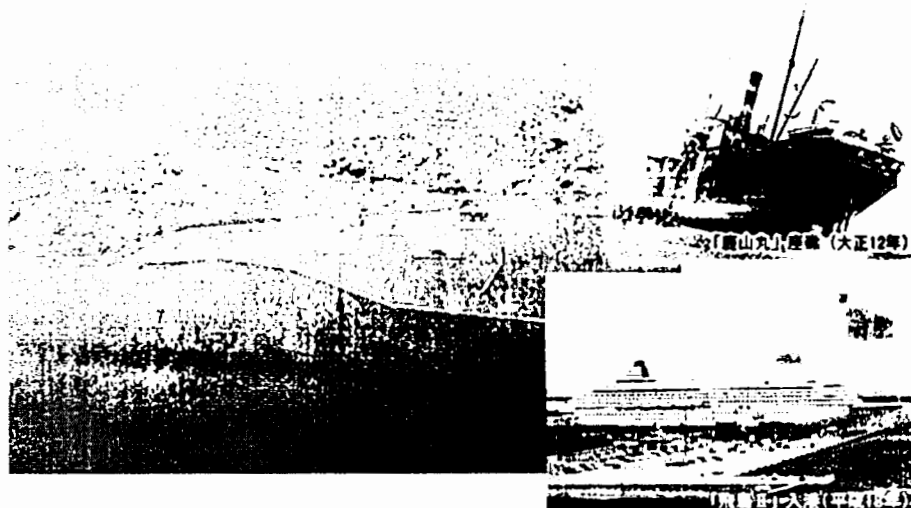
	重要港湾	地方港湾	計
北海道	12港	24港	36港
全国	128港	919港	1047港

2. 沿革

昭和 4年	「広尾港」修築工事に着手
40年	「十勝港」に港名を改称
45年	重要港湾の指定を受ける
51年	第1ふ頭岸壁(-7.5m)供用開始…①
53年	第2ふ頭岸壁(-7.5m)供用開始…②
平成 2年	第3ふ頭岸壁(-10.0m)供用開始…③
8年	第4ふ頭岸壁(-8.0m)供用開始…④
11年	関税法に基づく「開港」に指定
12年	第4ふ頭岸壁(-12.0m)供用開始…⑤
16年	第4ふ頭岸壁(-13.0m)(暫定-12.0m)供用開始…⑥



大正初期の広尾港



「山丸」(大正12年)

トップ > 帯広開発建設部について > 港湾整備事業(十勝港) > 十勝港の役割

港湾整備事業

- 十勝港の概要
- 十勝港の役割
- 整備計画
- 整備状況
- 利用状況
- お知らせ

十勝港の役割

1. 農業王国「十勝」を支える港

日本有数の穀倉地帯「十勝」を背後圏に持つ十勝港は、その取り扱い貨物量の約7割が農業関連品となっています。主な農業生産資材では化学肥料・飼料・製糖工場用石炭、生産品では小麦が十勝港を經由しています。

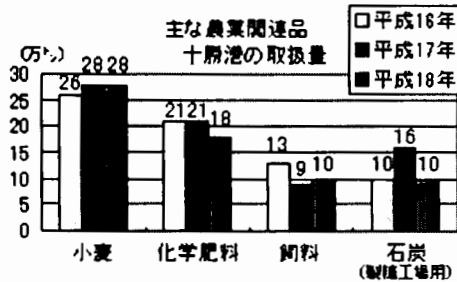


主な移出先(農産品)

小麦 - 千葉、愛知、神奈川など
馬鈴薯 - 鹿児島、広島
砂 - 東京

主な輸入・移入元(生産資材)

肥料 - アメリカ、チリ、韓国、マレーシア、中国
飼料 - 宮小牧、八戸、神奈川など
石炭 - オーストラリア、インドネシア



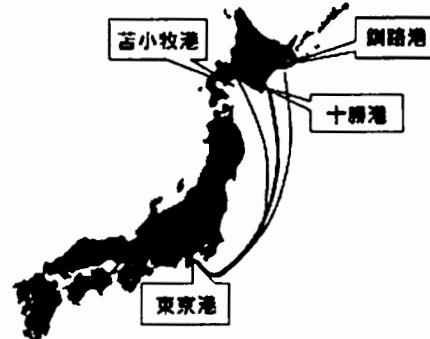
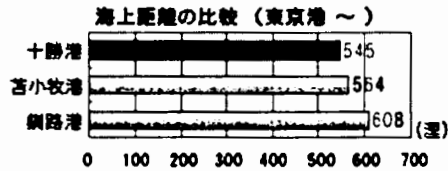
▲小麦の輸出

▼化学肥料の輸入

2. 十勝港の整備効果(利用メリット)

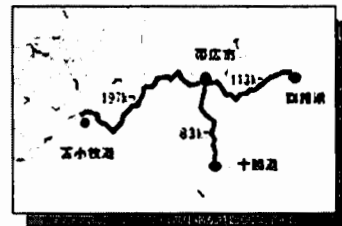
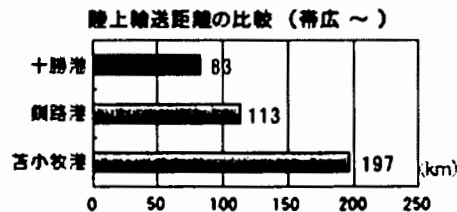
■海上輸送距離のメリット

十勝港は、道内で首都圏に一番近い重要港湾であり、海上輸送コストの削減が可能となります。



■陸上輸送距離のメリット

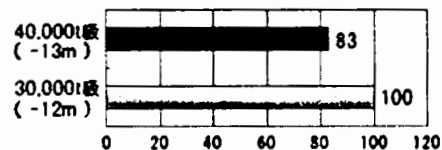
十勝港は、近隣港湾の中で帯広市内に一番近い港であり、陸上輸送コストの削減が可能となります。



■大型船によるコスト削減

岸壁(-13m)の完成により、4万トン級貨物船が入港可能となり、海上輸送コストの削減が可能となります(約2割程度)。

■北米からの輸送コストの比較(30,000t級を100とした場合)



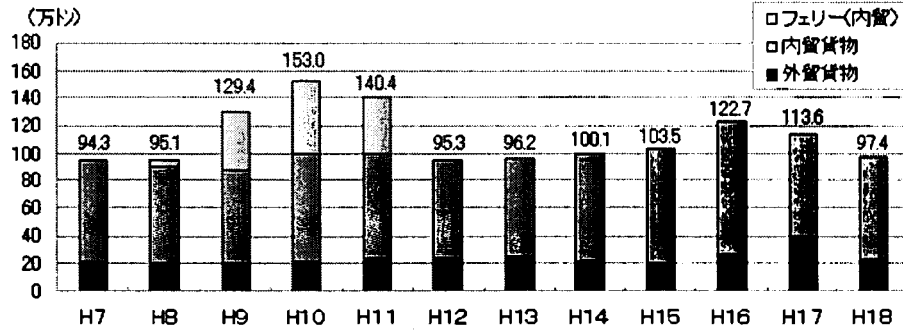
トップ > 帯広開発建設部について > 港湾整備事業(十勝港) > 利用状況

港湾整備事業

- 十勝港の概要
- 十勝港の役割
- 整備計画
- 整備状況
- 利用状況
- お知らせ

利用状況

1. 十勝港の取扱貨物量の推移



2. 取扱品目の詳細 (平成18年)

取扱貨物量(H18年実績) 97.4万ト(外貨22.6万ト、内貨74.8万ト)

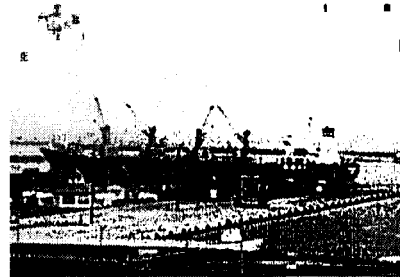
品目	数量	単位
輸出	2.1	2.1万ト
輸入	18.9	18.9万ト
移出	44.3	44.3万ト
移入	30.5	30.5万ト

外貨貨物
 十勝港-外国
 外国-十勝港
内貨貨物
 十勝港-日本国内
 日本国内-十勝港

輸出: 小麦
 輸入: 小麦、石炭
 移出: 小麦、石炭、肥料、その他
 移入: 化学肥料、セメント、肥料、とうもろこし、水産品



小麦の移出



石炭の輸入

整備状況

お知らせ



文字を拡大・縮小

サイトマップ

Google

検索

○ www を検索 ◎ サイト内検索

まちの紹介

広尾町の概要、行政情報、産業、文化財など

サンタランド

サンタランドの紹介、サンタメールの申し込み

観光・イベント

観光・レジャースポット、イベント情報など

商賈形第十勝港

十勝港の紹介、沿革、ポートセールスなど

町民のページ

子育てや福祉、公共施設、暮らしの情報など

広報ひろお

広報ひろおをPDFで見ることができます

サイトの考え方

個人情報の取り扱い
お問い合わせ

広尾町役場
〒080-2692
北海道広尾郡広尾町
西4条7丁目1
TEL(01558)2-2111
FAX(01558)2-4933

TOP>重要港湾十勝港>十勝港取扱貨物の推移

十勝港取扱貨物の推移

平成17年

品目	外 買		内 買		合 計	
	輸出	輸入	移出	移入		
農水産品	麦		280,469		280,469	
	とうもろこし			48,567	48,567	
	馬鈴しょなど		33,866	10	33,876	
	水産品			12,337	12,337	
	その他か			2,030	1,631	3,661
林産品		17,179	7,913		25,092	
鉱産品	石炭	201,043	38,182	11,580	250,805	
	砂利・砂			14,810	40	14,850
	その他か					0
金属機械工業品				512	512	
化学工業品	セメント			116,696	116,696	
	化学肥料	137,659	4,015	71,636	213,310	
	その他か	2,226	18,403	828	21,457	
軽工業品			25,774	350	26,124	
雑工業品			4,449	25	4,474	
特殊品	金属くず	24,960		6,223	31,183	
	ふすま・大豆粕など		6,724		44,603	51,327
	その他か			325	1,000	1,325
分類不能のもの			80	120	200	
合 計	24,960	364,831	436,539	309,935	1,136,265	

(単位:トン)

平成16年

品目	外 買		内 買		合 計	
	輸出	輸入	移出	移入		
農水産品	麦		264,485	15	264,500	
	とうもろこし		1,573	54,531	56,104	
	馬鈴しょなど			37,671		37,671
	水産品			20	32,910	32,930
	その他か			3,049	2,206	5,255
林産品		23,172	9,058	2,656	34,886	
	石炭	90,252	3,000	7,590	100,842	

鉱産品	砂利・砂			36.959	120.025	156.984
	そのほか				5	5
金属機械工業品				15	1.131	1.146
化学工業品	セメント				129.907	129.907
	化学肥料		131.123	9.047	78.067	218.237
	そのほか		703	39.769	896	41.368
軽工業品				46.798	285	47.083
雑工業品				3.677	80	3.757
特殊品	金属くず	17.275		7.344		24.619
	ふすま・大豆粕など		1.200	1.961	67.903	71.064
	そのほか			425	287	712
分類不能のもの				30	90	120
合 計		17.275	248.023	463.308	498.584	1,227.190

(単位:トン)

平成15年

品 目		外 買		内 買		合 計
		輸出	輸入	移出	移入	
農水産品	麦			252.677		252.677
	とうもろこし				56.210	56.210
	馬鈴しょなど			33.736	5	33.741
	水産品				31.888	31.888
	そのほか			2.672	6.523	9.195
林 産 品			36.739	5.935	9.738	52.412
鉱産品	石炭		31.498	4.010	5	35.513
	砂利・砂			40.171		40.171
	そのほか				5	5
金属機械工業品			1.123	70	2.887	4.080
化学工業品	セメント				159.696	159.696
	化学肥料		123.242	60	71.837	195.139
	そのほか			34.449	1,006	35.455
軽工業品				44.590	410	45.000
雑工業品				5.635	80	5.715
特殊品	金属くず	6.130				6.130
	ふすま・大豆粕など			2.066	68.667	70.733
	そのほか			315	760	1,075
分類不能のもの					25	25
合 計		6.130	192.602	426.386	409.742	1,034.860

(単位:トン)

平成14年

品 目		外 買		内 買		合 計
		輸出	輸入	移出	移入	

農水産品	麦			228.110		228.110
	とうもろこし			1.508	57.022	58.530
	馬鈴しょなど			34.288	230	34.518
	水産品			20	13.144	13.164
	そのほか			1.458	10.219	11.677
林産品			41,503	17,882	1,983	61,368
鉱産品	石炭		27,800	13,362		41,162
	砂利・砂			42,296	10	42,306
	そのほか			6,106	35	6,141
金属機械工業品			870	35	4,879	5,784
化学工業品	セメント				174,744	174,744
	化学肥料		139,354	5,050	63,361	207,765
	そのほか			24,268	2,515	26,783
軽工業品				24,478	390	24,868
雑工業品				1,819	80	1,899
特殊品	金属くず					0
	ふすま・大豆粕など		1,912		59,892	61,804
	そのほか			250	690	940
分類不能のもの					15	15
合計		0	211,439	400,930	389,209	1,001,578

(単位:トン)

平成13年

品目	外 買		内 買		合 計	
	輸出	輸入	移出	移入		
農水産品	麦			192,554	192,554	
	とうもろこし			1,500	53,954	55,454
	馬鈴しょなど			39,865	720	40,585
	水産品				16,382	16,382
	そのほか			1,601	11,359	12,960
林産品			73,925	9,693	2,775	86,393
鉱産品	石炭		28,755		1,500	30,255
	砂利・砂			27,198	65	27,263
	そのほか				145	145
金属機械工業品				40	6,689	6,729
化学工業品	セメント				172,868	172,868
	化学肥料		136,156	8,990	64,208	209,354
	そのほか			29,791	1,823	31,614
軽工業品				26,520	615	27,135
雑工業品				1,980	225	2,205
特殊品	金属くず					0
	ふすま・大豆粕など		9,016	5	55,984	65,005
	そのほか					

	そのほか			360	460	820
分類不能のもの					30	30
合 計		0	247.852	340.097	389.802	977.751

(単位:トン)

☎ お問い合わせ
 港湾課 振興係・管理係 (TEL:01558-2-0185)

▶ [前ページへ戻る](#)

平成18年度工業統計 「出荷額等」

業種	全道計			十勝支庁計			帯広市		
	出荷額等	構成比(%)	順位	出荷額等	構成比(%)	順位	出荷額等	構成比(%)	順位
合計(総数)	574,959,206	100.0		36,963,670	100.0		10,208,117	100.0	
09 食料品製造業	179,815,308	31.2	1	26,087,267	70.6	1	5,451,122	53.4	1
10 飲料・たばこ・飼料製造業	23,035,069	4.0	7	1,706,028	4.6	2	522,562	5.1	2
11 繊維工業(衣服,その他の繊維製品を除く)	454,919	0.1	24	0	0.0	18	0	0.0	12
12 衣服・その他の繊維製品製造業	2,146,574	0.4	19	104,617	0.3	13	79,152	0.8	9
13 木材・木製品製造業(家具を除く)	16,104,115	2.8	10	1,409,535	3.8	4	485,597	4.8	4
14 家具・装備品製造業	5,745,055	1.0	17	161,989	0.4	11	126,978	1.2	8
15 パルプ・紙・紙加工品製造業	43,093,559	7.5	4	665,422	1.8	9	X	X	
16 印刷・同関連業	16,564,469	2.9	9	543,121	1.5	10	392,728	3.8	6
17 化学工業	13,534,362	2.4	12	815,521	2.2	8	X	X	
18 石油製品・石炭製品製造業	88,021,478	15.3	2	79,143	0.2	14	0	0.0	12
19 プラスチック製品製造業(別掲を除く)	9,426,154	1.6	15	49,527	0.1	16	X	X	
20 ゴム製品製造業	1,198,566	0.2	20	0	0.0	18	0	0.0	12
21 なめし革・同製品・毛皮製造業	588,907	0.1	23	X	X	X	X		
22 窯業・土石製品製造業	20,210,582	3.5	8	1,397,946	3.8	5	202,931	2.0	7
23 鉄鋼業	49,145,628	8.5	3	43,018	0.1	17	X	X	
24 非鉄金属製造業	915,307	0.2	21	X	X		0	0.0	12
25 金属製品製造業	28,191,365	4.9	5	901,440	2.4	6	520,244	5.1	3
26 一般機械器具製造業	12,878,363	2.2	13	864,678	2.3	7	399,416	3.9	5
27 電気機械器具製造業	7,109,346	1.2	16	1,558,882	4.2	3	X	X	
28 情報通信機械器具製造業	10,303,427	1.8	14	0	0.0	18	0	0.0	12
29 電子部品・デバイス製造業	14,990,798	2.6	11	X	X	X	X		
30 輸送用機械器具製造業	27,697,824	4.8	6	159,778	0.4	12	71,673	0.7	10
31 精密機械器具製造業	845,608	0.1	22	X	X	X	X		
32 その他の製造業	3,142,423	0.5	18	59,055	0.2	15	25,202	0.2	11

※(注1)1又は2の事業所に関する数値で、これをそのまま掲げると個々の申告者の秘密が漏れるおそれがある箇所及び、3以上の事業所に関する数値であっても、1又は2の事業所の数値が前後の関係から判明する箇所はXで表示している。

※(注2)構成比と順位は、Xで表示されている項目を除いて、帯広市が独自に計算したものである。

平成18年度工業統計

「従業者数」

(単位:人)

業種	全道計			十勝支庁計			帯広市		
	従業者数	構成比(%)	順位	従業者数	構成比(%)	順位	従業者数	構成比(%)	順位
合計(総数)	182,681	100.0		12,208	100.0		5,108	100.0	
09 食料品製造業	79,752	43.7	1	6,735	55.2	1	2,230	43.7	1
10 飲料・たばこ・飼料製造業	3,733	2.0	13	386	3.2	8	136	2.7	8
11 繊維工業(衣服,その他の繊維製品を除く)	471	0.3	23	0	0.0	22	0	0.0	20
12 衣服・その他の繊維製品製造業	3,544	1.9	15	155	1.3	12	99	1.9	11
13 木材・木製品製造業(家具を除く)	9,375	5.1	4	691	5.7	4	192	3.8	7
14 家具・装備品製造業	4,868	2.7	11	175	1.4	11	126	2.5	10
15 パルプ・紙・紙加工品製造業	6,499	3.6	9	217	1.8	9	82	1.6	12
16 印刷・同関連業	9,985	5.5	3	466	3.8	7	370	7.2	3
17 化学工業	3,571	2.0	14	70	0.6	15	8	0.2	17
18 石油製品・石炭製品製造業	1,073	0.6	19	25	0.2	18	0	0.0	20
19 プラスチック製品製造業(別掲を除く)	4,480	2.5	12	32	0.3	17	19	0.4	16
20 ゴム製品製造業	895	0.5	20	0	0.0	22	0	0.0	20
21 なめし革・同製品・毛皮製造業	469	0.3	24	4	0.0	21	4	0.1	19
22 窯業・土石製品製造業	7,679	4.2	5	715	5.9	3	133	2.6	9
23 鉄鋼業	5,431	3.0	10	49	0.4	16	27	0.5	15
24 非鉄金属製造業	570	0.3	22	15	0.1	19	0	0.0	20
25 金属製品製造業	12,656	6.9	2	538	4.4	5	329	6.4	4
26 一般機械器具製造業	7,071	3.9	6	532	4.4	6	241	4.7	5
27 電気機械器具製造業	3,157	1.7	16	1,003	8.2	2	813	15.9	2
28 情報通信機械器具製造業	1,483	0.8	18	0	0.0	22	0	0.0	20
29 電子部品・デバイス製造業	6,618	3.6	8	211	1.7	10	211	4.1	6
30 輸送用機械器具製造業	6,717	3.7	7	105	0.9	13	49	1.0	13
31 精密機械器具製造業	750	0.4	21	5	0.0	20	5	0.1	18
32 その他の製造業	1,834	1.0	17	79	0.6	14	34	0.7	14

平成18年度工業統計

「事業所数」

(単位:箇所)

業種	全道計			十勝支庁計			帯広市		
	事業所数	構成比(%)	順位	事業所数	構成比(%)	順位	事業所数	構成比(%)	順位
合計(総数)	6,813	100.0		425	100.0		151	100.0	
09 食料品製造業	2,224	32.6	1	128	30.1	1	35	23.2	1
10 飲料・たばこ・飼料製造業	165	2.4	11	18	4.2	8	3	2.0	11
11 繊維工業(衣服,その他の繊維製品を除く)	34	0.5	19	0	0.0	22	0	0.0	20
12 衣服・その他の繊維製品製造業	174	2.6	10	11	2.6	10	9	6.0	7
13 木材・木製品製造業(家具を除く)	486	7.1	5	38	8.9	4	6	4.0	9
14 家具・装備品製造業	381	5.6	7	22	5.2	7	15	9.9	4
15 パルプ・紙・紙加工品製造業	115	1.7	13	6	1.4	12	2	1.3	12
16 印刷・同関連業	537	7.9	4	26	6.1	6	17	11.3	3
17 化学工業	99	1.5	14	4	0.9	15	1	0.7	16
18 石油製品・石炭製品製造業	46	0.7	18	3	0.7	17	0	0.0	20
19 プラスチック製品製造業(別掲を除く)	187	2.7	9	3	0.7	16	1	0.7	16
20 ゴム製品製造業	25	0.4	21	0	0.0	22	0	0.0	20
21 なめし革・同製品・毛皮製造業	14	0.2	23	1	0.2	19	1	0.7	16
22 窯業・土石製品製造業	562	8.2	3	59	13.9	2	12	7.9	5
23 鉄鋼業	93	1.4	15	5	1.2	13	2	1.3	12
24 非鉄金属製造業	20	0.3	22	1	0.2	19	0	0.0	20
25 金属製品製造業	755	11.1	2	39	9.2	3	18	11.9	2
26 一般機械器具製造業	388	5.7	6	34	8.0	5	12	7.9	6
27 電気機械器具製造業	78	1.1	16	5	1.2	13	2	1.3	12
28 情報通信機械器具製造業	13	0.2	24	0	0.0	22	0	0.0	20
29 電子部品・デバイス製造業	52	0.8	17	2	0.5	18	2	1.3	12
30 輸送用機械器具製造業	143	2.1	12	8	1.9	11	5	3.3	10
31 精密機械器具製造業	33	0.5	20	1	0.2	19	1	0.7	16
32 その他の製造業	189	2.8	8	11	2.6	9	7	4.6	8

産業基盤部会のスケジュール(案)

平成20年4月30日作成

		第1回 3月25日	第2回 4月22日	第3回 5月8日	第4回 5月27日	第5回 6月5日	第6回(最終回) 6月下旬	
インフラ	(インフラ)○地域内優位産業が農業関連業種であるとの認識を前提に、地域特性を生かした産業集積を促進するために必要な支援策のあり方	検討の視点(案)について議論	議論1回目	議論2回目	まとめ3回目	提言書(案)協議	具体的な施策等をまとめ、(仮称)提言書の原案を確認して終了	
	(インフラ)○地場企業の新增設に対する支援のあり方			議論1回目	議論2回目	まとめ3回目、提言書(案)協議		
	(インフラ)○高速道路や高規格道路、空港や十勝港などの整備計画を踏まえて、地域全体として具体的な取り組みの進め方			議論1回目	議論2回目	まとめ3回目、提言書(案)協議		
共同利用	(共同利用)○大学等試験研究機関と連携して、帯広市や中小企業団体等が新たに産業支援機能を整備する場合、現在不足している機能について				議論1回目	議論2回目		まとめ3回目、提言書(案)協議
エネルギー	(エネルギー)○豊富なバイオマス資源などの地域特性を生かし、低コストで持続可能なエネルギーを、地域全体として研究開発を促進し、導入を推進する進め方		議論1回目	議論2回目	まとめ3回目	提言書(案)協議		
総合的	(総合的)○地域内経済循環を実現するために、基幹産業の農業と2次3次産業の産業連関を意識した取り組みの進め方					議論1回目		議論2回目

テーマ	第2回産業基盤部会での主な意見	意見のキーワード	キーワードの集約	
エネルギー	地域特性、十勝は広くて、そこで大きなエネルギーが使われる。十勝は色々提案をされており、バイオマス振興も進められ、工場など出て来る。個々の企業としては、これを抜きに考えられない。具体的にどうするかという答えはないが、皆さんの知恵をお借りしたい。(菅根)	(十勝)の地域特性からバイオマスなどについて個々の企業として、これを抜きに考えられない。	個々の企業にとってのエネルギー	
	遠達会社にしてみれば、死活問題。196下りになると、そこは逆に積貯する余地がないということ(菅根)	(エネルギー)遠達会社にしては死活問題	企業にとってエネルギーは死活問題	企業のコストとしてのエネルギー
	エネルギー安く使っていけるか、産業の基盤であることは間違いない。部長が話したように、もう少し、議論を深まらなければ。(菅根)	エネルギー安く使っていけるか、産業の基盤であることは間違いない	企業のコスト削減課題としてのエネルギー	
	北見工大はバイオと研究している。産省が注目している。電気、水などコスト削減のノウハウがある。それぞれ企業が研究を継続する。製造、消費からコスト削減といえることがあるが、この場合は3-5年で考えたい。(竹川)	企業が研究を継続するノウハウ	企業のコスト削減課題としてのエネルギー	
	産業の一部としてのエネルギーとしての考え方、十勝においてバイオマスエネルギーをどうするか、やるかやらないかという点については、議論は進んでいる。中長期的な視点で、どう整理していくか。(菅根)	産業の一部としてのエネルギーとしての考え方、十勝においてバイオマスエネルギーをどうするか	産業の一部としてエネルギーをとらえる	
	中長期的な視点で、どう整理していくか。(菅根)	中長期的な視点で、どう整理していくか	エネルギーは長期的議論	
	地域性、地味な産業、地域が一度言いたくない。今、みなさんの話を聞いていると大事な問題だと思える。地域はどのような可能性があるか、次元を上げて、別な場を設けて話でも飲みながら話したい。(菅根)	地域はどのような可能性があるか、次元を上げて、別な場を設けて話でも飲みながら話したい	長期的に化石燃料に頼らないエネルギー	
	フロイデ案について、産省を上げて1年間、1000万円かかる。半分にできるシステムもあって提案のしやすさがよい。そこまでやるまでにはいかない。いかに石油資源を使わないでやるか。(菅根)	いかに石油資源を使わないでやるか	いかに石油資源をつかわないか	
	飼料もよくつくられる。前回、こちらの方で集積しなさいという話があった。バイオ燃料取組まれているので、どうするかとなると議論は進んでいく。イギリスでバイオ燃料をガソリンにまぜる法律がある。近い将来5%になるといわれている。食糧との競合も出てくる。小麦、ビート4品目の28%がバイオ燃料に使われている。ブラジルでは50%、なたねは90%、これだけやってもがソンの1%にしかつかない。比率を上げていくと、食べるものもなくなる。そもそも農産物があつた時、何とかがよいかという話で、その辺を整理していかないと、食糧問題、21世紀中盤から問題になる。バイオ燃料をどうするかという話で、その辺を整理していかないと、食糧問題、21世紀中盤から問題になる。バイオ燃料をどうするかという話で、その辺を整理していかないと、食糧問題、21世紀中盤から問題になる。(菅根)	飼料と競合するバイオ燃料	食料と競合するバイオ燃料	
	石油運送からのレポート。食べ物は食べ物は限界、そうではなく、食物でもいものから展開するのが第2段階だと書いてあった。温暖化といふこと(菅根)	食物でもないものから展開するのが第2段階	食用でないものから展開するエネルギー	食料と競合しないエネルギー
小麦でもクズとか、ビートのくすを利用して新しいエネルギーといふことで付加価値をつけていくのであれば議論の価値ある	小麦でもクズとか(食用でないもの)を利用して新しいエネルギーといふことで付加価値をつけていくのであれば議論の価値ある	食用でないものからエネルギーといふ付加価値をつける		
コップからエタノールを(など)、逆にできる畑(を利用して)エネルギー(作物を収穫する)なら負担にならない	コップからエタノールを(など)、逆にできる畑(を利用して)エネルギー(作物を収穫する)なら負担にならない	未利用の資源を活用するエネルギー		
第24期の工業委員会でもエネルギーについて研究したが、十勝バイオインダストリアルパーク構想とまどまどいのであつて資料を渡したい。(菅根)	十勝バイオインダストリアルパーク構想(審議、工業委員会)がまどまどまっている	十勝バイオインダストリアルパーク構想がある		
インフラ、共同利用、ノウハウの観点からして議論をしていくが、まずインフラから議論をしたい。議論が広範囲にわたり、議論促進も進めたい。議論促進も進めたい。議論促進も進めたい。議論促進も進めたい。(菅根)	まずインフラから議論をしたい。議論が広範囲にわたり、議論促進も進めたい。	議論促進も進めたい。議論促進も進めたい。		
農集は(現在の)工業団地、農集は工業団地が事例。農集は工業団地が事例。農集は工業団地が事例。農集は工業団地が事例。(菅根)	農集は(現在の)工業団地、農集は工業団地が事例。	農集と農集は違う。農集は工業団地が事例。		
ばらばらのもを集めるのは農集、意味があつて集まってくるのが農集ではないか。(菅根)	ばらばらのもを集めるのは農集、意味があつて集まってくるのが農集ではないか。	意味があつて集まってくるのが農集。		
十勝ではそういったものがどうあるのかという議論をしてみたい。(菅根)	十勝ではそういったものがどうあるのかという議論をしてみたい。	農集は工業団地が事例。農集は工業団地が事例。		
農集には集約が必要でない。集約があつた場合に集約が必要なのか。集約の結果、農集に場所ありきで集約になるのか。(菅根)	農集には集約が必要でない。集約があつた場合に集約が必要なのか。	集約があつた場合に集約が必要なのか。		
建設費でいうと集約がない。商業集約が集まるとも意味ない。現場が発生した時にそこに集まればよい。集約で進んでいく。(菅根)	建設費でいうと集約がない。商業集約が集まるとも意味ない。	現場が発生した時にそこに集まればよい。		
帯広の中核を議論したい。(菅根)	帯広の中核を議論したい。	帯広の集積を議論すべき	意図的な産業集積の形成	
工業団地の両面。なぜ個々の団地が成功したか分かる。騒音などを解決するため、色々なものが入っている。目的は意識的に考えられた。これからの行政から見ると産業政策をみると、合同でやる必要が出てくる。コソレがあるから集約するといふのが、農集、意識的に考えられたといふのが、必要性が出てきているのではない。(菅根)	工業団地の両面。なぜ個々の団地が成功したか分かる。	帯広の集積を議論すべき		
産業集積と話を聞くと、この会議は中小企業振興協議会、産業集積とどう結びつか、大量生産といわれない、関連企業でそこをやるという考え方、コミュニティビジネス、スモールビジネスをどう併用するのがある。大企業が大量生産でやってきて規模の利益だけだとしてやってきて、中小企業の振興とどうするかを考えたとき、サステナビリティ、スロウにやるか、湯布院、黒川温泉がそれをやっている。共同利用、連携をやる。あそこは温泉集積している。ラインアップして農集している。大企業にまねの出来ないところをどう地元でやるか。(竹川)	中小企業ならではの分野を地元でどう実現するか。	中小企業ならではの分野を地元でどう実現するか。		
最初から最後までやる。大企業になるので、役割分担することで農集になる。役割分担するところが中小企業になる。(菅根)	役割分担することで農集になる。役割分担するところが中小企業になる。	中小等組が役割分担することで農集になる		
地域特性を生かした農業関連した産業。横並びのテーマでなく、地域内の優位産業を絞り込んでから、そこに基づいてやるものと考え、そこからメリットとコストを考慮していくという順番ではないか。(菅根)	地域特性を生かした農業。地域内の優位産業を絞り込んでから、そこに基づいてやるものと考え、そこからメリットとコストを考慮していくという順番ではないか。	地域特性を生かした農業。優位産業を絞り込むのが優先。		
ビジョンがない。トヨタが来てくれたという話はない。トヨタを本体を特産で持ってきたら、部品、土を起す機械などという集約が出てくるのではない。後にもう何を必要にするかという議論をしたい方がいい。(菅根)	ビジョン、後にもう何を必要にするかという議論をしたい方がいい。	ビジョンを決めて農集に必要なものを議論すべき。		
農集でできるものかという産業がある。必然的に理由もなく立地している。アクセスをキーポイントに置いた。後となる企業誘致もあるが、誘致した中で関連したインフラを進めていくのではないかと、印刷があつて製本集約があつたこと(菅根)	アクセスをキーポイントに置いた。後となる企業誘致もあるが、誘致した中で関連したインフラを進めていくのではないかと、印刷があつて製本集約があつたこと	アクセスをキーポイントにした企業誘致もあるが、誘致企業に連関したインフラ整備の方法もある。		
住宅地に工場が所在しているのを工業専用に移転集約してこのように政策でやってきている。一連の工業地帯を9000ヘクタール、これだけの面積があつて企業が集まって、周辺にある企業の集約とどう関係するのがある。意図的に農集をしようとするのではなく、自然に集約して農集をしようとするのではないかと、印刷があつて製本集約があつたこと(菅根)	意図的に農集をしようとするのではなく、自然に集約して農集をしようとするのではないかと、印刷があつて製本集約があつたこと	意図的に農集をしようとするのではなく、自然に集約して農集をしようとするのではないかと、印刷があつて製本集約があつたこと		
意図する農集化が農集、シナジー効果、相乗的な効果も出てくる。地域経済として産業集積を考えたならば、農集は農集を明確にして動きかけるといふ、大企業と農集をどう結びつけるか。(菅根)	意図する農集化が農集、シナジー効果、相乗的な効果も出てくる。	意図する農集化が農集、シナジー効果、相乗的な効果も出てくる。	地域特性、アクセス、工業団地のポテンシャル、大学など頭脳集積を生かす	
頭脳集積。大学を核として、研究者として成功させていく環境を作っていく。農業高校、第2産業大学があつて、そこに企業がくる。北方圏の農業政策を勉強するにはこれといふことになる。(菅根)	頭脳集積。大学を核として、研究者として成功させていく環境を作っていく。	頭脳集積という考え方で、大学を核として研究環境を作る		
チーズを産業としてやるなら、もっと人が集まらなければ、産業として供給体制がなければ、チーズとどばいなどを組み合わせなければならない。産業集積といつたときに全国、企画に集約、これを特定企業で、向社でやる。たくさん企業が集約している。チーズといつても特定の企業のみ。加工してどうするのがあるか。そこまでいって産業集積、マーケティングが必要になる。そこからブランド戦略になっていく。集約の議論はたいがうコンセンサスをもらえたと思つた。チーズにてもここでチーズを事業として起こすことでメリットがあると思つた。(菅根)	チーズを産業としてやるなら、もっと人が集まらなければ、産業として供給体制がなければ、チーズとどばいなどを組み合わせなければならない。	チーズを産業として考えると、もっと集積すべき。加工品など複数社での展開が必要。		
小麦、交流部会で食だんとか、十勝産の小麦を使った餃子の皮が作りたという話をしたら、市のテーマ、金儲けでもやっている。このように整理したいと聞くと、農集が促進される。(菅根)	十勝産の小麦を使った餃子の皮が作りたという話をしたら、市のテーマ、金儲けでもやっている。	複数の地産産物活用を取り組みを整理すべき。		
最先端で新たな機械を見つけた。アメリカ、カナダと技術競争をしている。全粒粉をすべてを粉にしてしまつた機械。ふだんは粉にして食べる。外側のペーパーが厚い。健康志向性で注目されている。その機械の故障がある。パンをこねる機械。工業部会の人に何人かの人に食べていただいたが、ドゥツツにある良いパン。朝ごはんとして食べるようなパン。そういうものを食べて製粉工場の誘致、両実現するが考えられているが、十勝産で小麦をテーマに企画通してやるというプロジェクトが十勝産で動いているので、最終商品をつくるというところで工業部会とタイアップしようといふこと。産業集積協議会がタイアップで出来ないか。(菅根)	最先端で新たな機械を見つけた。アメリカ、カナダと技術競争をしている。	十勝産小麦、帯広商工会議所、帯広市食産振興協議会がタイアップできないか。	チーズ、小麦、お菓子を生かす	
ついていくのがついで。京大の岡田さんの講演で食料基地は福地地帯で練成的な意識で考えよう。必要もない農業王国。食糧基地といふコンセプトが快くなくなつていく。交流部会でも地産地消のものを地産地消しない。食料基地で加工して食べることが出来るが、相当な努力をしない。産業集積としてのチーズは、交流部会の中で環境が大きくなるという話と、ばらばらにして、ある程度集約されて面の中で集約されるという話があるが、そこには当然、必然、ムリくりはないとそれがパワーになつて来ないのではないかと、帯広のお菓子フェアをやつたが、これほどあるんだと思つた。お菓子屋さんと洋食屋さんの帯広。農集の結果ではないか。あつたものよりも今更によくつくるといふ努力も必要。(菅根)	ついていくのがついで。京大の岡田さんの講演で食料基地は福地地帯で練成的な意識で考えよう。	帯広・十勝のお菓子の充実が農集の結果ではないか。今あるものをおしりげる努力も必要。		
食品加工業と農集との連携。チーズを食品加工業から吸い上げるという議論があった。(菅根)	食品加工業と農集との連携。チーズを食品加工業から吸い上げるという議論があった。	食品加工業と農集との連携は大切。吸い上げるという議論があった。		
新たな付加価値の付け方がある。取組む体制がなかった。それを中小企業が付加価値をつけていける。農集の面白さにはまさに面白い。農集の面白さにはまさに面白い。農集の面白さにはまさに面白い。農集の面白さにはまさに面白い。(菅根)	新たな付加価値の付け方がある。取組む体制がなかった。	農集の面白さにはまさに面白い。	食品加工業を生かす	
地元消費に、自分たちの考えを整理してもらつてもらうことが必要。それが外にでていくという話になる。地域の文化になる。(菅根)	地元消費に、自分たちの考えを整理してもらつてもらうことが必要。	地元消費の理解が大切。		

第3回産業基盤部会 検討の視点（案）の細項目

平成20年5月8日提出
産業基盤部会正副部長メモ

（インフラ）○地域内優位産業が農業関連業種であるとの認識を前提に、地域特性を生かした産業集積を促進するために必要な支援策のあり方

- ・ 地域内優位産業をどう考えるか？
- ・ 農業関連業種は、どのような業種か？
- ・ 地域特性とは、どのようなものだと考えるか？
- ・ 産業集積が進んでいる業種とは、どのようなものか？
- ・ 産業集積を進めるべき業種とは、どのようなものがあるか？
- ・ 地場企業を業種ごとに集積していく場合、どのようなインセンティブが必要か？
- ・ 産業集積を促進するために必要な支援策は、どのようなものが考えられるか？

- ▼ 平成18年工業統計(帯広市分)によれば、食料品製造業の出荷額等は、全体の53.4%であり、第二位の飲料・たばこ・飼料製造業5.1%に比較して圧倒的である。地域の強みとして、食料品製造業(食関連産業)であると認識できるか？また、食料品製造業の関連業種としては、どのような業種が考えられるか？
- ▼ チーズ、お菓子など、集積されつつある業種を生かして「意図的な産業集積の形成」を目指すには、どのような集積を目指すべきか？または、関連業種の集積の可能性をどのように考えるべきか？
- ▼ 同業種が集積することによる「相乗効果」には、どのようなものが考えられるか？また、逆に「マイナス効果」についてどのように考えるか？
- ▼ 意図的な産業集積を進める場合に、インセンティブになる地域特性には、どんなものが考えられるか？(高速道路など交通アクセス、苫小牧に次ぐ大規模工業団地、畜産大学等の試験研究機関など)
- ▼ 食料品製造業以外に、集積すべき業種は考えられないか？

※産業集積・・・特定分野において相互に連結する企業群と関連機関群が地理的に集中している状態。

（インフラ）○地場企業の新増設に対する支援のあり方

- ・ 地元企業の新増設の情報をどのように入手すべきか？
- ・ 地元企業が新増設する場合、何を判断材料としているか？
- ・ 地元企業の新増設のインセンティブになる支援策は、どのようなものか？
- ・ 現在の帯広市の企業立地補助金等の制度は、地元企業から見て使いやすいか？使いにくいとしたら、どのような点に課題があると考えられるか？
- ・ 地場企業の新増設の対象業種を限定すべきか？
- ・ 産業集積を誘導していくような支援に限定すべきか？

（インフラ）○高速道路や高規格道路、空港や十勝港などの整備計画を踏まえて、地域全体として具体的な取り組みの進め方

- ・ 北海道横断自動車道(スカイロード)が札幌まで開通する影響は、どのようなものが考えられるか？

- ・ 高規格道路が広尾まで開通する影響は、どのようなものが考えられるか？
- ・ 空港の機能、及び空港周辺の機能として、不足しているものはどのようなものが考えられるか？
- ・ 空港周辺に集積可能な業種として、どのようなものが考えられるか？
- ・ インターチェンジ周辺に集積可能な業種として、どのようなものが考えられるか？
- ・ 道路（特に高速道路）の完成を見込んで、地域全体としての取り組みはどのようなものが考えられるか？

（共同利用）○大学等試験研究機関と連携して、帯広市や中小企業団体等が新たに産業支援機能を整備する場合、現在不足している機能について

- ・ 産業支援機能としてどのようなものが不足していると考えられるか？
- ・ マーケティングの機能を充実する場合、どのようなことが考えられるか？
- ・ ブランディング、デザイン、技術経営（MOT）などに関する支援機能の必要性をどのように考えるか？
- ・ 現在のさまざまな支援機能（試験研究機関など）の機能は、十分に発揮されているか？
- ・ 発揮されていない機能があるとしたら、何が要因だと考えられるか？

（エネルギー）○豊富なバイオマス資源などの地域特性を生かし、低コストで持続可能なエネルギーを、地域全体として研究開発を促進し、導入を推進する進め方

▼企業のコストとしてのエネルギーは産業の基盤であり、地域全体として取り組むべき課題ではないか？

▼長期的に化石燃料に頼らないエネルギーとしては、どのようなものを選択し、導入を推進すべきか？

▼食料と競合するバイオ燃料は、帯広・十勝にふさわしくないのではないか？
食用でないものや未利用の農産物などを利用したバイオ燃料の導入を促進すべきではないか？

▼地域特性を生かした自然エネルギー（風力、太陽光、雪氷エネルギーなど）の導入を促進すべきではないか？

（総合的）○地域内経済循環を実現するために、基幹産業の農業と2次3次産業の産業連関を意識した取り組みの進め方

- ・ 産業間の連携が進まない要因は、どのようなことが考えられるか？
- ・ 農商工等の連携が進まない要因は、どのようなことが考えられるか？
- ・ 財団法人十勝圏振興機構（とち財団）設立の趣旨は、農商工等連携による産業振興であるが、その趣旨を発揮できているか？
- ・ 企業と企業の間での連携が、なかなか進まない要因は、どのようなことが考えられるか？
- ・ 異業種交流グループが存在しているにもかかわらず連携が進まない要因は、どのようなことが考えられるか？
- ・ 地域内経済循環を生み出す活動として、どのようなことが考えられるか？

産業集積に関する概念図(食関連産業の場合)

